

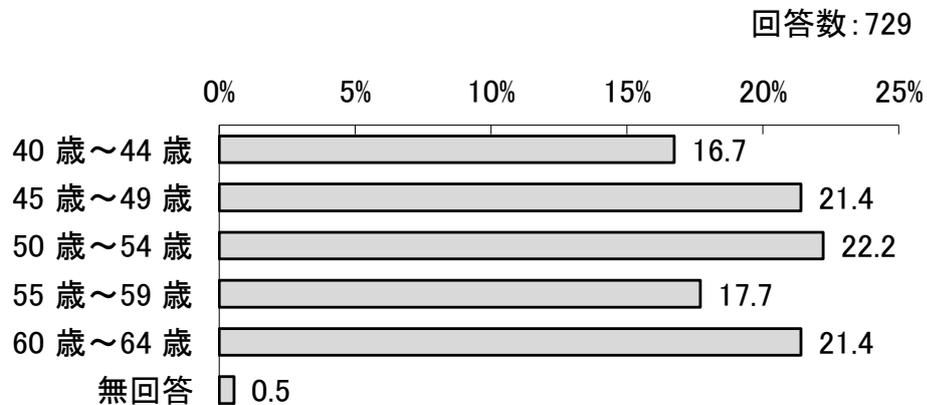
## 第3章 一般若年者調査



# 1 年齢や性別などについて

## (1) 年齢

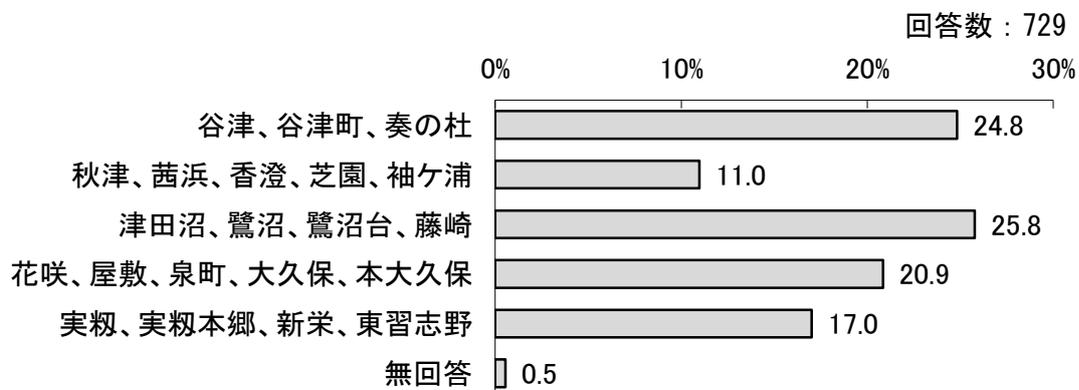
問1 あなたの年齢をお答えください。



○「50歳～54歳」が22.2%で最も多く、次いで「45歳～49歳」と「60歳～64歳」が21.4%で多くなっている。

## (2) 居住地区

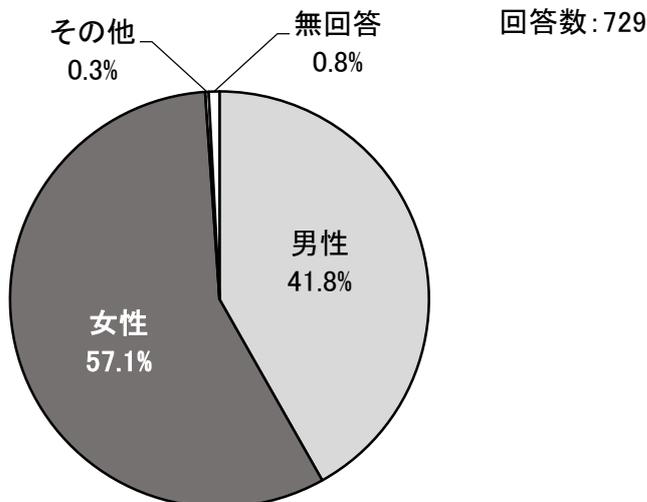
問2 お住まいの地区名をお答えください。



○「津田沼、鷺沼、鷺沼台、藤崎」が25.8%で最も多く、次いで「谷津、谷津町、奏の杜」が24.8%で多くなっている。

### (3) 性別

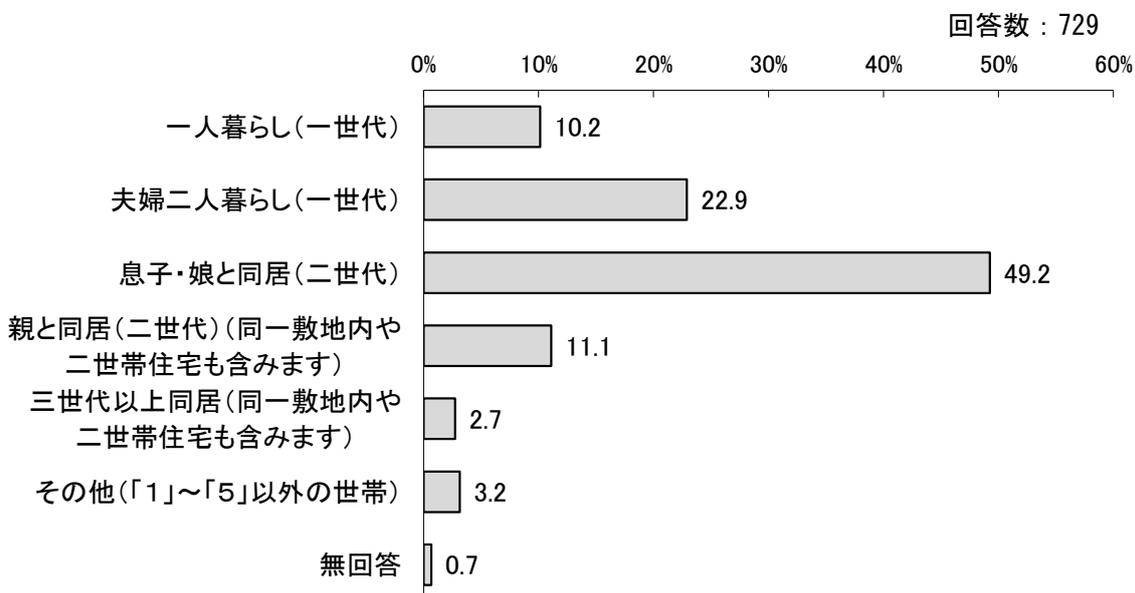
問3 あなたの性別をお答えください。



○「男性」が41.8%、「女性」が57.1%で、女性が多くなっている。

### (4) 家族構成

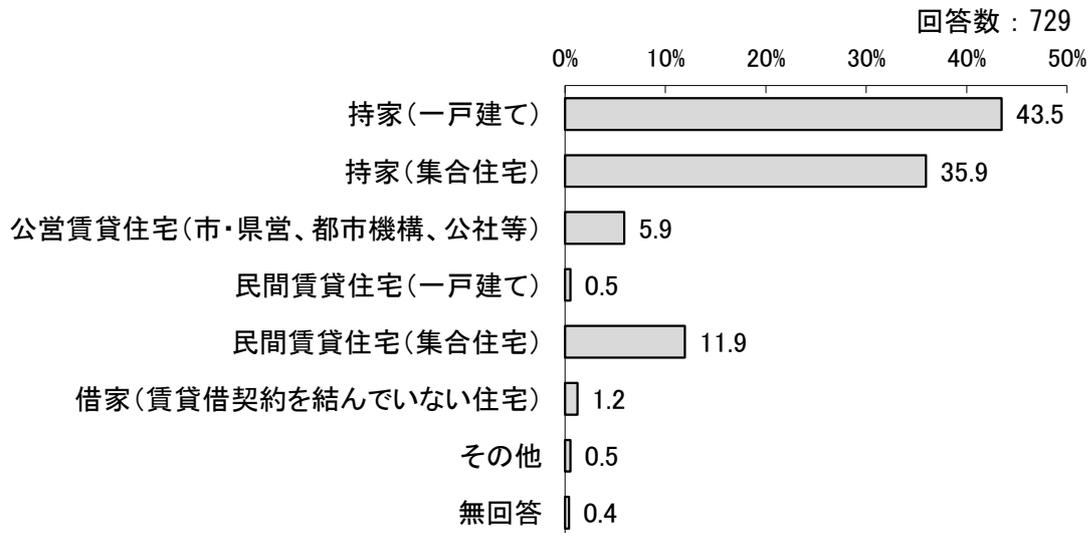
問4 家族構成をお教えてください。



○「息子・娘と同居(二世帯)」が49.2%と半数近くを占めて最も多く、次いで「夫婦二人暮らし(一世代)」が22.9%で多くなっている。

## (5) 住居の形態

問5 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。



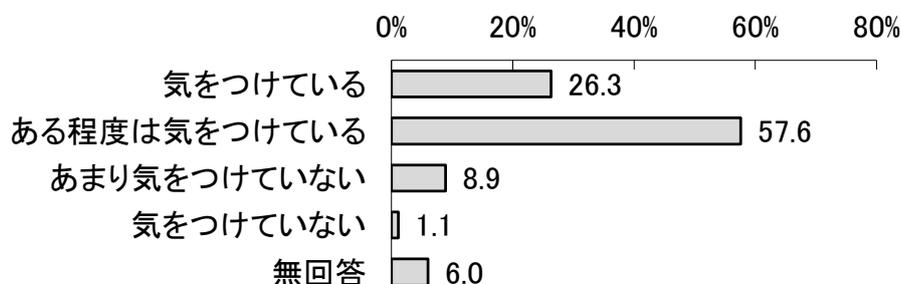
○「持ち家(一戸建て)」が43.5%で最も多く、次いで「持家(集合住宅)」が35.9%で多くなっている。

## 2 健康について

### (1) 健康への配慮の状況

問6 あなたは、日頃、自分の健康に気をつけていますか。

回答数：729



○「ある程度は気をつけている」が57.6%で最も多く、次いで「気をつけている」が26.3%で多くなっている。両選択肢の回答割合の合計は83.9%となっている。

#### 【性別】

上段：回答数 下段：割合 (%)	合計	気をつけている	ある程度は気をつけている	あまり気をつけていない	気をつけていない	無回答
全体	729 100.0	192 26.3	420 57.6	65 8.9	8 1.1	44 6.0
男性	305 100.0	80 26.2	167 54.8	30 9.8	6 2.0	22 7.2
女性	416 100.0	110 26.4	250 60.1	35 8.4	2 0.5	19 4.6
その他	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
無回答	6 100.0	0 0.0	3 50.0	0 0.0	0 0.0	3 50.0

○性別では、「気をつけている」と「ある程度は気をつけている」を合わせた割合は男性が81.0%、女性が86.5%と女性が5.5ポイント多くなっている。

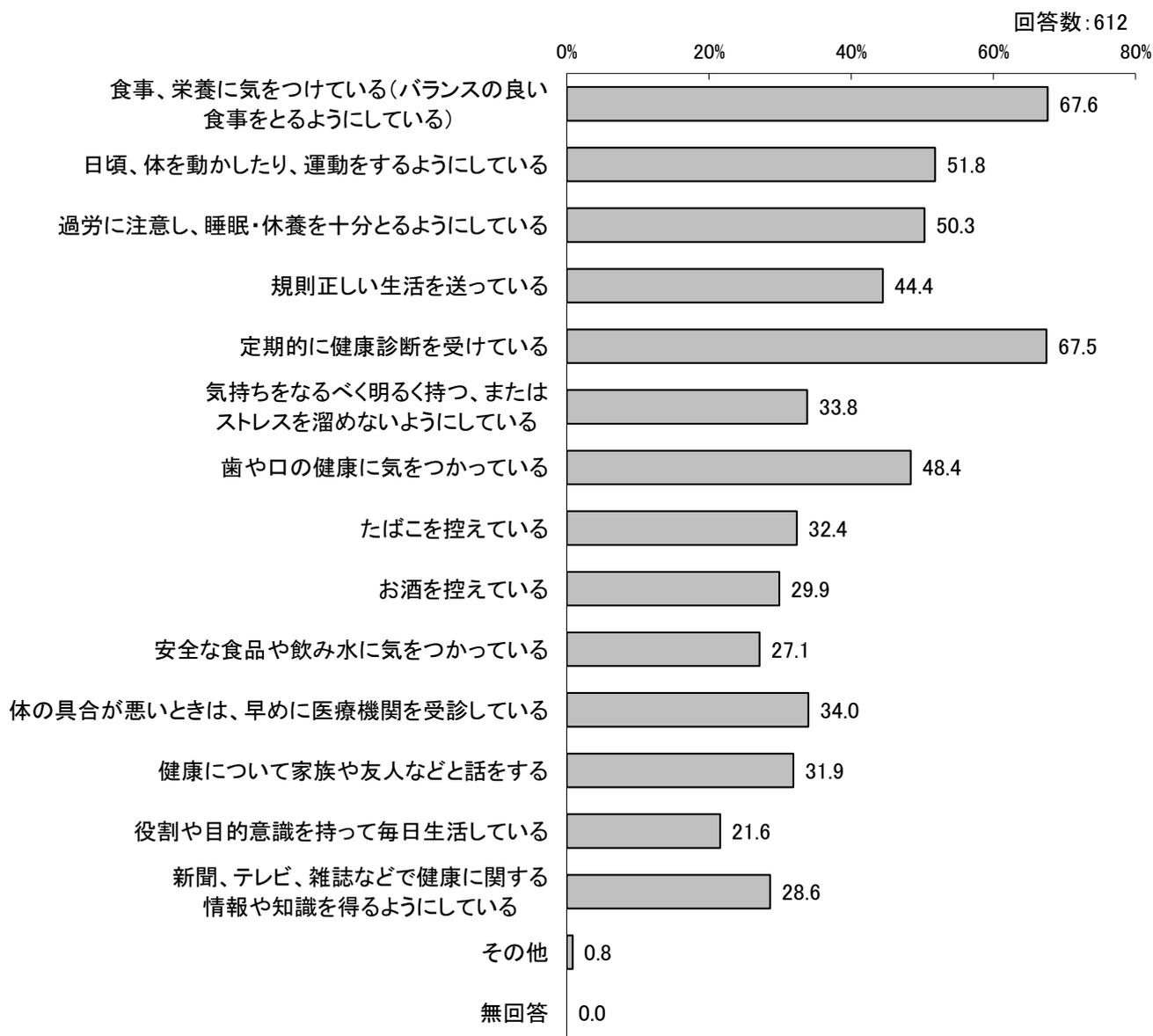
#### 【年齢別】

上段：回答数 下段：割合 (%)	合計	気をつけている	ある程度は気をつけている	あまり気をつけていない	気をつけていない	無回答
全体	729 100.0	192 26.3	420 57.6	65 8.9	8 1.1	44 6.0
40歳～44歳	122 100.0	29 23.8	70 57.4	16 13.1	1 0.8	6 4.9
45歳～49歳	156 100.0	32 20.5	95 60.9	20 12.8	3 1.9	6 3.8
50歳～54歳	162 100.0	47 29.0	83 51.2	10 6.2	3 1.9	19 11.7
55歳～59歳	129 100.0	31 24.0	85 65.9	7 5.4	1 0.8	5 3.9
60歳～64歳	156 100.0	51 32.7	86 55.1	12 7.7	0 0.0	7 4.5
無回答	4 100.0	2 50.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0

○年齢別では、40～59歳と比較して、60～64歳で「気をつけている」が32.7%と比較的多くなっており、3割台を占めている。

## (2) 健康のため実行していること

問6-1 (健康に気をつけている、またはある程度は気をつけている方のみ)  
何か実行していることがありますか。(〇はいくつでも)



○「食事、栄養に気をつけている(バランスの良い食事をとるようにしている)」が 67.6%、「定期的に健康診断を受けている」が 67.5%で多くなっている。

【性別 健康のため実施していること】

上段: 回答数 下段: 割合 (%)	合計	食事、栄養に気をつけている(バランスの良い食事をとるようになっている)	日頃、体を動かしたり、運動をするようにしている	過労に注意し、睡眠・休養を十分とるようにしている	規則正しい生活を送っている	定期的に健康診断を受けている	気持ちになるべく明るく持つ、またはストレスを溜めないようにしている	歯や口の健康に気をつけている	たばこを控えている
全体	612 100.0	414 67.6	317 51.8	308 50.3	272 44.4	413 67.5	207 33.8	296 48.4	198 32.4
男性	247 100.0	153 61.9	139 56.3	110 44.5	90 36.4	173 70.0	72 29.1	100 40.5	70 28.3
女性	360 100.0	259 71.9	175 48.6	197 54.7	180 50.0	238 66.1	133 36.9	194 53.9	126 35.0
その他	2 100.0	1 50.0	2 100.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0
無回答	3 100.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	2 66.7

上段: 回答数 下段: 割合 (%)	合計	お酒を控えている	安全な食品や飲み水に気をつけている	体の具合が悪いときは、早めに医療機関を受診している	健康について家族や友人などと話をする	役割や目的意識を持って毎日生活している	新聞、テレビ、雑誌などで健康に関する情報や知識を得るようにしている	その他	無回答
全体	612 100.0	183 29.9	166 27.1	208 34.0	195 31.9	132 21.6	175 28.6	5 0.8	0 0.0
男性	247 100.0	66 26.7	46 18.6	75 30.4	49 19.8	37 15.0	46 18.6	0 0.0	0 0.0
女性	360 100.0	115 31.9	119 33.1	132 36.7	145 40.3	93 25.8	129 35.8	5 1.4	0 0.0
その他	2 100.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
無回答	3 100.0	2 66.7	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

○性別では、ほとんどの回答で女性が男性を上回っているが、特に「健康について家族や友人などと話をする」、「新聞、テレビ、雑誌などで健康に関する情報や知識を得るようにしている」、「安全な食品や飲み水に気をつけている」でその差が大きくなっている。

【年齢別 健康のため実施していること】

上段: 回答数 下段: 割合 (%)	合計	食事、栄養に気をつけている(バランスの良い食事をとるようにしている)	日頃、体を動かしたり、運動をするようにしている	過労に注意し、睡眠・休養を十分とるようにしている	規則正しい生活を送っている	定期的に健康診断を受けている	気持ちよくなるべく明るく持つ、またはストレスを溜めないようにしている	歯や口の健康に気がつかっている	たばこを控えている
全体	612 100.0	414 67.6	317 51.8	308 50.3	272 44.4	413 67.5	207 33.8	296 48.4	198 32.4
40歳～44歳	99 100.0	63 63.6	46 46.5	56 56.6	39 39.4	57 57.6	35 35.4	42 42.4	31 31.3
45歳～49歳	127 100.0	79 62.2	66 52.0	55 43.3	49 38.6	76 59.8	39 30.7	58 45.7	42 33.1
50歳～54歳	130 100.0	92 70.8	69 53.1	70 53.8	58 44.6	93 71.5	48 36.9	68 52.3	42 32.3
55歳～59歳	116 100.0	85 73.3	60 51.7	60 51.7	56 48.3	85 73.3	33 28.4	62 53.4	38 32.8
60歳～64歳	137 100.0	95 69.3	74 54.0	65 47.4	68 49.6	100 73.0	51 37.2	64 46.7	45 32.8
無回答	3 100.0	0 0.0	2 66.7	2 66.7	2 66.7	2 66.7	1 33.3	2 66.7	0 0.0

上段: 回答数 下段: 割合 (%)	合計	お酒を控えている	安全な食品や飲み水に気をつけている	体の具合が悪いときは、早めに医療機関を受診している	健康について家族や友人などと話をする	役割や目的意識を持って毎日生活している	新聞、テレビ、雑誌などで健康に関する情報や知識を得るようになっている	その他	無回答
全体	612 100.0	183 29.9	166 27.1	208 34.0	195 31.9	132 21.6	175 28.6	5 0.8	0 0.0
40歳～44歳	99 100.0	37 37.4	25 25.3	21 21.2	25 25.3	17 17.2	18 18.2	1 1.0	0 0.0
45歳～49歳	127 100.0	32 25.2	29 22.8	44 34.6	36 28.3	26 20.5	33 26.0	1 0.8	0 0.0
50歳～54歳	130 100.0	39 30.0	41 31.5	48 36.9	40 30.8	27 20.8	34 26.2	2 1.5	0 0.0
55歳～59歳	116 100.0	29 25.0	35 30.2	42 36.2	46 39.7	26 22.4	39 33.6	1 0.9	0 0.0
60歳～64歳	137 100.0	46 33.6	35 25.5	50 36.5	45 32.8	35 25.5	50 36.5	0 0.0	0 0.0
無回答	3 100.0	0 0.0	1 33.3	3 100.0	3 100.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0

○年齢別では、いずれの年代でも「食事、栄養に気をつけている(バランスの良い食事をとるようにしている)」や「定期的に健康診断を受けている」が多くなっている。

## 【経年比較】①

(単位%)

	食事、栄養に気をつけている(バランスの良い食事をとるようにしている)	日頃、体を動かしたり、運動をするようにしている	過労に注意し、睡眠・休養を十分とるようにしている	規則正しい生活を送っている	定期的に健康診断を受けている	気持ちになるべく明るく持つ、またはストレスを溜めないようにしている	歯や口の健康に気をつかっている	たばこを控えている
令和4年度調査 (回答数:612)	67.6	51.8	50.3	44.4	67.5	33.8	48.4	32.4
令和元年度調査 (回答数:513)	69.6	47.2	44.6	40.7	66.7	31.6	40.0	28.7

## 【経年比較】②

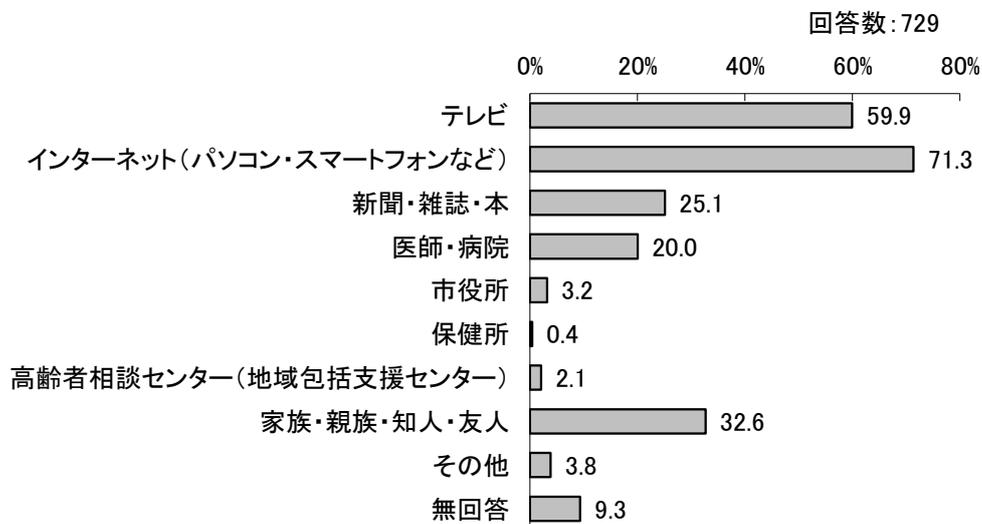
(単位%)

	お酒を控えている	安全な食品や飲み水に気をつけている	体の具合が悪いときは、早めに医療機関を受診している	健康について家族や友人などと話をする	役割や目的意識を持って毎日生活している	新聞、テレビ、雑誌などで健康に関する情報や知識を得るようにしている	その他	無回答
令和4年度調査 (回答数:612)	29.9	27.1	34.0	31.9	21.6	28.6	0.8	0.0
令和元年度調査 (回答数:513)	20.7	25.0	34.7	33.1	21.1	34.9	1.8	0.8

○前回調査時と比較すると、「お酒を控えている」、「歯や口の健康に気をつけている」との回答が1割に 9.2 ポイント、8.4 ポイント増加している。

### (3) 情報の入手

問7 医療や介護についての知識や情報を、何から得ていますか。(〇はいくつでも)

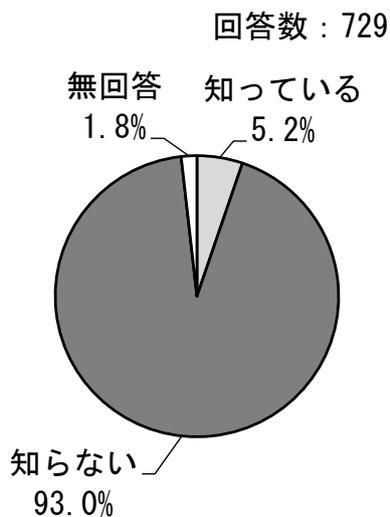


○「インターネット(パソコン・スマートフォンなど)」が 71.3%で最も多く、次いで「テレビ」が 59.9%で多くなっている。

### (4) 用語「ACP」の認知状況

問8 人生会議またはアドバンス・ケア・プランニング(ACP)※という言葉を知っていますか。

※もしものときのために、あなたが望む医療やケアについて前もって考え、家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取組のこと



○「知らない」が 93.0%で多く、「知っている」は 5.2%となっている。

## (5) 用語「ACP」を知った場所

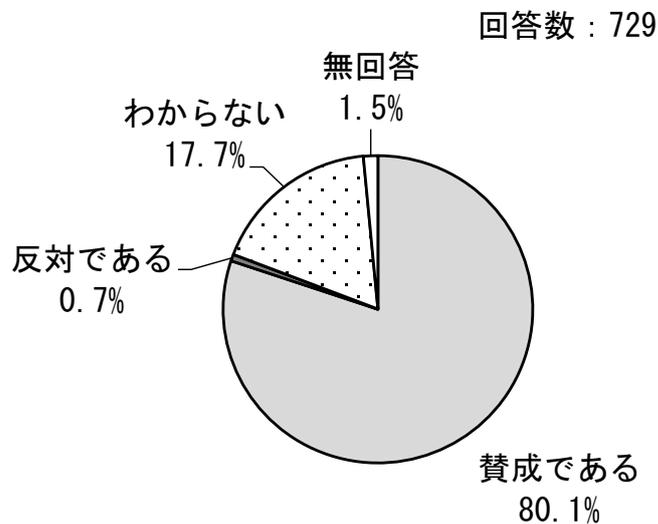
問8-1 (ACPを「知っている」方のみ)  
ACPという言葉はどこで知りましたか。

	回答数	%
テレビ・新聞・インターネット	20	52.6
雑誌・本	4	10.5
医師・病院	4	10.5
市役所	0	0.0
保健所	0	0.0
高齢者相談センター(地域包括支援センター)	1	2.6
家族・親族・友人・知人	5	13.2
その他	4	10.5
無回答	0	0.0
全体	38	100.0

○「テレビ・新聞・インターネット」が38人中20人・52.6%と最も多く、次いで「家族・親族・友人・知人」が38人中5人・13.2%などとなっている。

## (6) 話し合いの推進についての意見

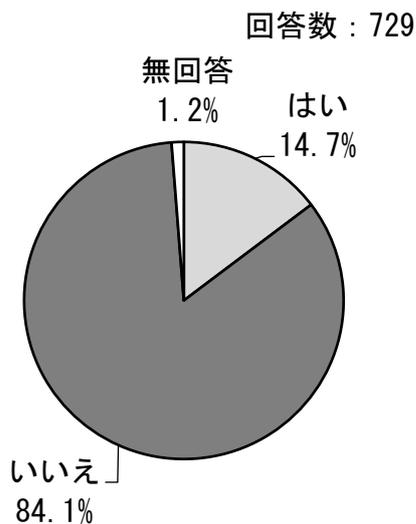
問9 人生の最終段階の医療・療養について、あなたの意思に沿った医療・療養を受けるためには、家族等や医療・ケアチームとあらかじめ話し合い、また繰り返し話し合うことが重要と言われています。このような話し合いを進めることについて、あなたはどのように思いますか。



○「賛成である」が80.1%で多く、「反対である」は0.7%となっている。

## (7) 認知症状のある人の有無（本人・家族）

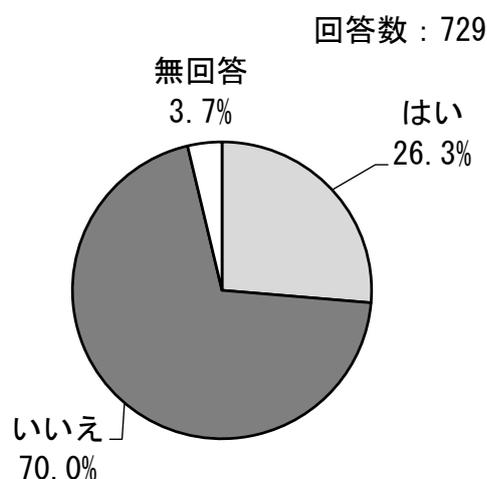
問10 認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいますか。



○「はい」は14.7%、「いいえ」が84.1%などとなっている。

## (8) 認知症相談窓口の認知状況

問 11 認知症に関する相談窓口を知っていますか。

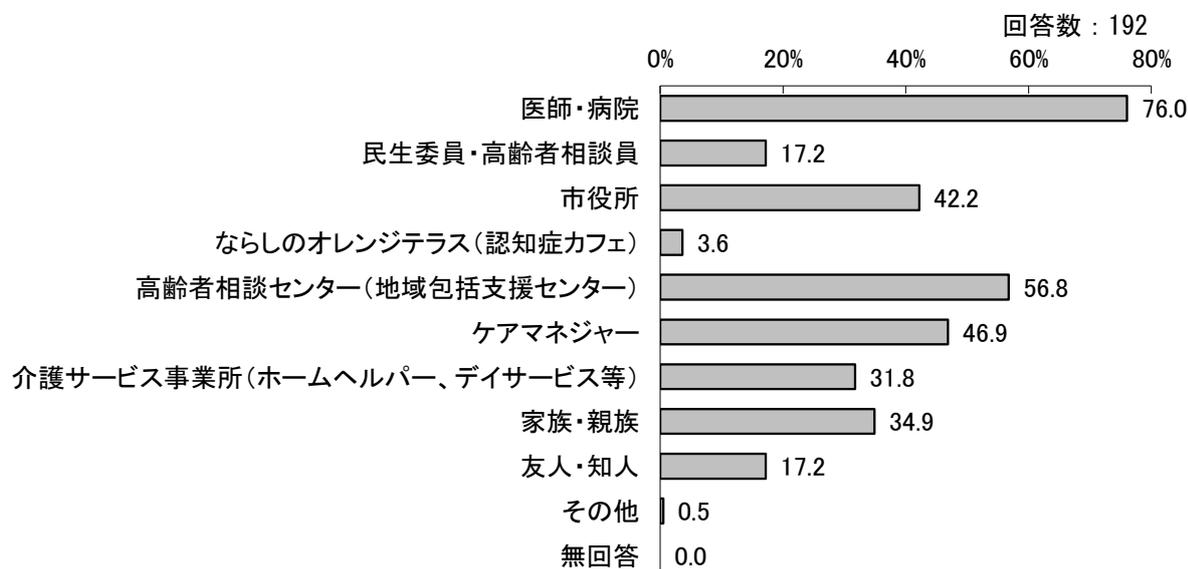


○「いいえ」が70.0%で多く、「はい」は26.3%となっている。

## (9) 認知症に関する相談先

問 11-1 (認知症に関する相談窓口を知っている方のみ)

どこに相談すると思いますか、または相談しましたか。(○はいくつでも)



○「医師・病院」が76.0%で最も多く、「高齢者相談センター(地域包括支援センター)」56.8%、「ケアマネジャー」46.9%、「市役所」42.2%が続いている。

【年齢別 認知症に関する相談先】

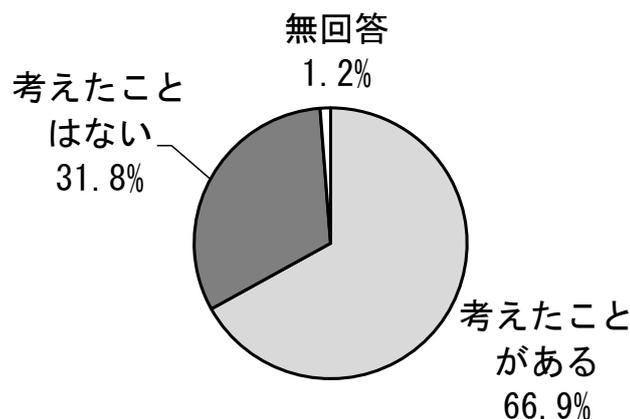
上段: 回答数 下段: 割合(%)	合計	医師・病院	民生委員・高齢者相談員	市役所	カフェ ならしのオレンジテラス(認知症支援センター)	高齢者相談センター(地域包括支援センター)	ケアマネジャー	介護サービス事業所(ホームヘルパー、デイサービス等)	家族・親族	友人・知人	その他	無回答
全体	192	146	33	81	7	109	90	61	67	33	1	0
	100.0	76.0	17.2	42.2	3.6	56.8	46.9	31.8	34.9	17.2	0.5	0.0
40歳～44歳	27	20	7	11	1	16	19	10	15	8	0	0
	100.0	71.4	25.0	39.3	3.6	57.1	67.9	35.7	53.6	28.6	0.0	0.0
45歳～49歳	28	32	6	14	1	23	22	17	11	5	0	0
	100.0	84.2	15.8	36.8	2.6	60.5	57.9	44.7	28.9	13.2	0.0	0.0
50歳～54歳	38	35	6	21	1	22	19	14	13	10	1	0
	100.0	79.5	13.6	47.7	2.3	50.0	43.2	31.8	29.5	22.7	2.3	0.0
55歳～59歳	44	41	7	23	2	34	23	15	20	6	0	0
	100.0	74.5	12.7	41.8	3.6	61.8	41.8	27.3	36.4	10.9	0.0	0.0
60歳～64歳	55	18	7	12	2	14	7	5	8	4	0	0
	100.0	66.7	25.9	44.4	7.4	51.9	25.9	18.5	29.6	14.8	0.0	0.0
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

○年齢別では、いずれの年齢も「医師・病院」が最も多くなっている。「高齢者相談センター(地域包括支援センター)」はいずれの年齢も5割以上を占めており、「45歳～49歳」以上では次いで多くなっている。「40歳～44歳」では次いで多くなっているのが「ケアマネジャー」で67.9%となっている。

(10) 認知症になったときについて

問 12 今までに、自分自身や家族が認知症になったときどうしたらいいのか、考えたことがありますか。

回答数 : 729



○「考えたことがある」が66.9%で多く、「考えたことはない」は31.8%となっている。

【性別 認知症について考えたことがあるか】

上段: 回答数 下段: 割合(%)	合計	考えたことがある	考えたことはない	無回答
全体	729	488	232	9
	100.0	66.9	31.8	1.2
男性	305	178	125	2
	100.0	58.4	41.0	0.7
女性	416	305	106	5
	100.0	73.3	25.5	1.2
その他	2	2	0	0
	100.0	100.0	0.0	0.0
無回答	6	3	1	2
	100.0	50.0	16.7	33.3

○性別では、「考えたことがある」は「女性」が「男性」を14.9ポイント上回り、それぞれ73.3%、58.4%となっている。

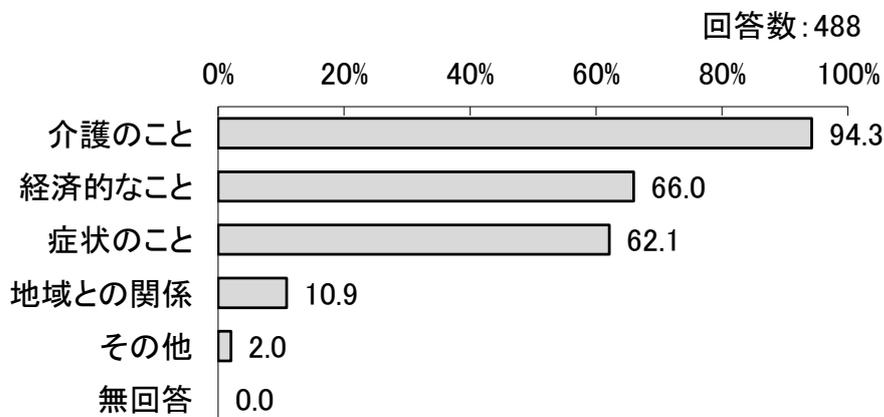
【年齢別 認知症について考えたことがあるか】

上段: 回答数 下段: 割合(%)	合計	考えたことがある	考えたことはない	無回答
全体	729	488	232	9
	100.0	66.9	31.8	1.2
40歳～44歳	122	79	41	2
	100.0	64.8	33.6	1.6
45歳～49歳	156	95	59	2
	100.0	60.9	37.8	1.3
50歳～54歳	162	104	58	0
	100.0	64.2	35.8	0.0
55歳～59歳	129	94	33	2
	100.0	72.9	25.6	1.6
60歳～64歳	156	113	40	3
	100.0	72.4	25.6	1.9
無回答	4	3	1	0
	100.0	75.0	25.0	0.0

○年齢別では、「考えたことがある」は54歳以下が6割、55歳以上が7割を占めている。

(11) 認知症になったときについて考えたこと

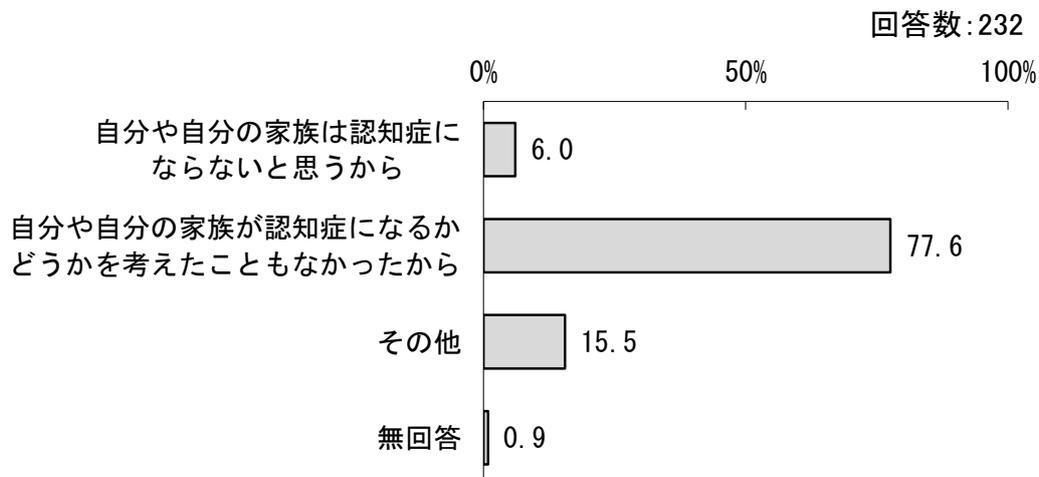
問12-1 (認知症について考えたことがある方のみ)  
どのようなことを考えましたか。(○はいくつでも)



○「介護のこと」が94.3%で最も多く、「経済的なこと」66.0%、「症状のこと」62.1%が続いている。

## (12) 認知症になったときについて

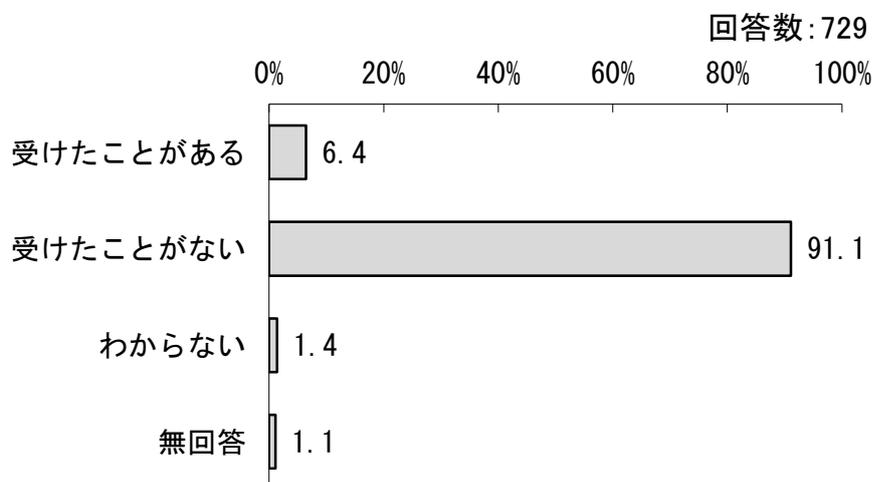
問 12-2 (認知症について考えたことがない方のみ)  
考えたことがなかった理由は何だと思えますか。



○「自分や自分の家族が認知症になるかどうかを考えたこともなかったから」が77.6%で多くなっている。

## (13) 「認知症サポーター養成講座」受講の有無

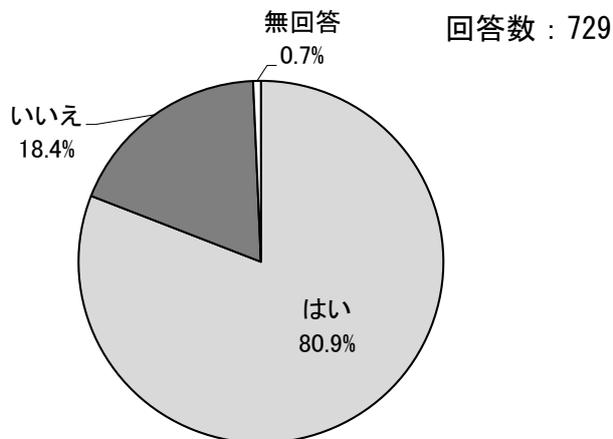
問 13 認知症サポーター養成講座を受けたことがありますか。



○「受けたことがない」が91.1%で最も多く、「受けたことがある」は6.4%となっている。

## (14) 1年以内の健康診査受診について

問 14 あなたは、1年以内に健康診査（特定健康診査、人間ドック、職場の健診等）を受けましたか。



○「はい」が80.9%、「いいえ」は18.4%となっている。

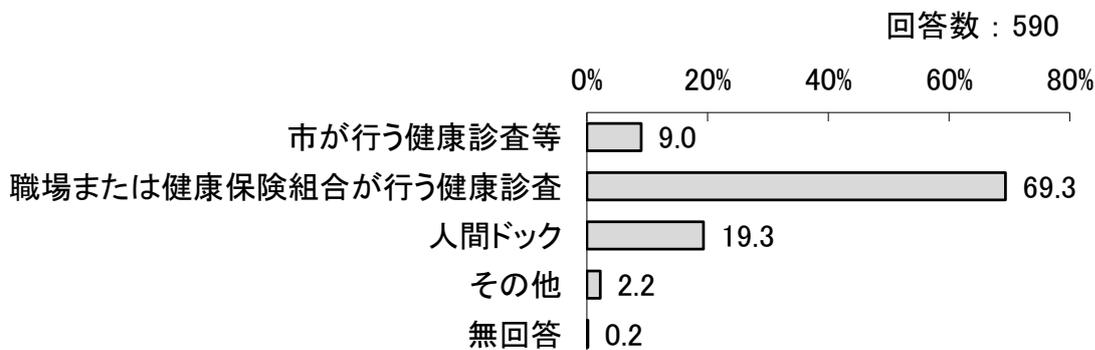
### 【性別 1年以内の健康診査受診の有無】

上段：回答数 下段：割合 (%)	合計	はい	いいえ	無回答
全体	729	590	134	5
	100.0	80.9	18.4	0.7
男性	305	267	36	2
	100.0	87.5	11.8	0.7
女性	416	318	97	1
	100.0	76.4	23.3	0.2
その他	2	1	1	0
	100.0	50.0	50.0	0.0
無回答	6	4	0	2
	100.0	66.7	0.0	33.3

○性別では、「はい」は「男性」が87.5%、「女性」が76.4%で、「男性」が「女性」を11.1ポイント上回っている。

## (15) 健康診査を受けた場所

問 14-1 (健康診査を受けた方のみ)  
どちらで健康診査を受けましたか。

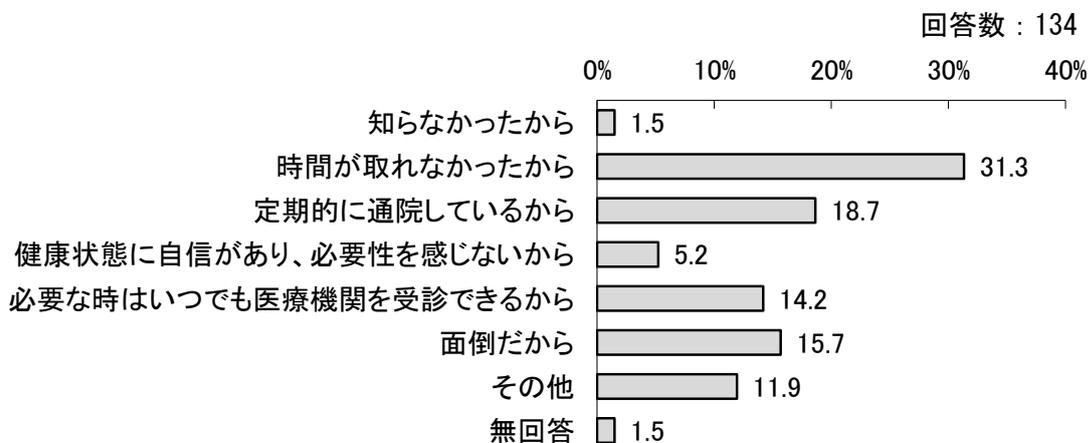


○「職場または健康保険組合が行う健康診査」が69.3%で最も多く、次いで「人間ドック」が19.3%で多くなっている。

## (16) 健康診査を受けなかった理由

問 14-2 (健康診査を受けなかった方のみ)

健康診査を受けなかった理由は何ですか。



○「時間が取れなかったから」が31.3%で最も多く、次いで「定期的に通院しているから」が18.7%、「面倒だから」が15.7%となっている。

### 【性別 健康診査を受けなかった理由】

上段：回答数 下段：割合 (%)	合計	知らな かった から	時間 が取 れな かつ た から	定期 的に 通院 して いる から	健康 状態 に自 信が あり、 必要 性を 感じ ない から	必要 な時 はい つも 医療 機関 を受 診で きる から	面倒 だ か ら	その他	無回答
全体	134 100.0	2 1.5	42 31.3	25 18.7	7 5.2	19 14.2	21 15.7	16 11.9	2 1.5
男性	36 100.0	1 2.8	10 27.8	10 27.8	3 8.3	2 5.6	6 16.7	3 8.3	1 2.8
女性	97 100.0	1 1.0	31 32.0	15 15.5	4 4.1	17 17.5	15 15.5	13 13.4	1 1.0
その他	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

○性別では、「男性」「女性」は「時間が取れなかったから」が最も多く、それぞれ27.8%、32.0%となっている。「男性」では「定期的に通院しているから」が同率で多くなっている。

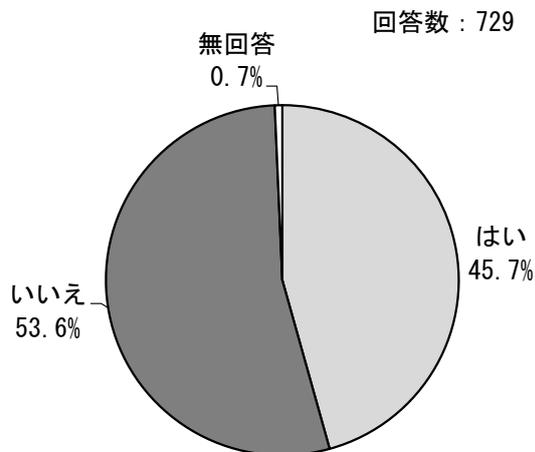
【年齢別 健康診査を受けなかった理由】

上段: 回答数 下段: 割合 (%)	合計	知らな かった から	時間 が取れ なかつ たから	定期的 に通院 してい るから	健康状 態に自 信があ り、必 要性を 感じな いから	必要な 時はい つでも 医療機 関を受 診でき るから	面倒だ から	その他	無回答
全体	134	2	42	25	7	19	21	16	2
	100.0	1.5	31.3	18.7	5.2	14.2	15.7	11.9	1.5
40歳～44歳	26	0	13	1	4	3	3	2	0
	100.0	0.0	50.0	3.8	15.4	11.5	11.5	7.7	0.0
45歳～49歳	35	0	12	4	0	5	6	8	0
	100.0	0.0	34.3	11.4	0.0	14.3	17.1	22.9	0.0
50歳～54歳	32	1	11	3	0	7	6	3	1
	100.0	3.1	34.4	9.4	0.0	21.9	18.8	9.4	3.1
55歳～59歳	14	1	3	4	1	1	2	2	0
	100.0	7.1	21.4	28.6	7.1	7.1	14.3	14.3	0.0
60歳～64歳	27	0	3	13	2	3	4	1	1
	100.0	0.0	11.1	48.1	7.4	11.1	14.8	3.7	3.7
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

○年齢別では、「40歳～44歳」「45歳～49歳」「50歳～54歳」では「時間が取れなかったから」が、「55歳～59歳」「60～64歳」では「定期的に通院しているから」が最も多くなっている。

## (17) 1年以内のがん検診受診について

問 15 あなたは、1年以内にかん検診を受けましたか。



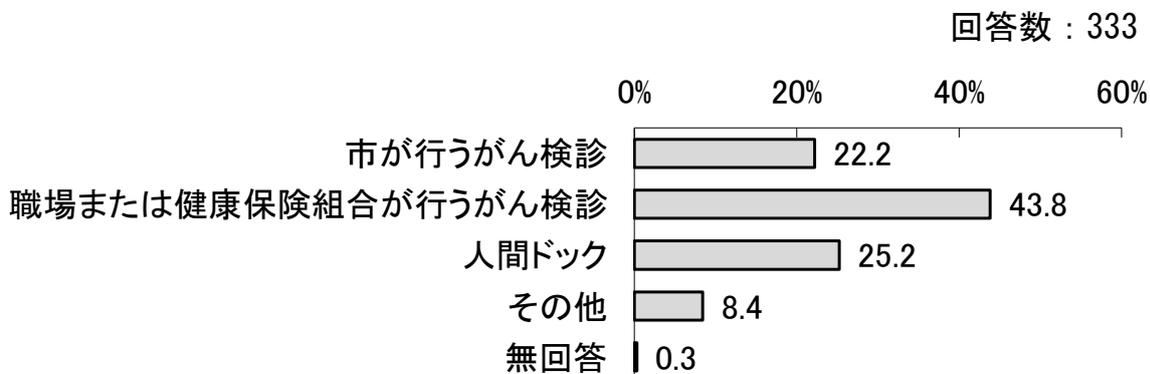
○「いいえ」が53.6%で多く、「はい」は45.7%となっている。

上段: 回答数 下段: 割合 (%)	合計	はい	いいえ	無回答
全体	729	333	391	5
	100.0	45.7	53.6	0.7
男性	305	107	196	2
	100.0	35.1	64.3	0.7
女性	416	222	193	1
	100.0	53.4	46.4	0.2
その他	2	1	1	0
	100.0	50.0	50.0	0.0
無回答	6	3	1	2
	100.0	50.0	16.7	33.3

○性別では、「はい」は「男性」が35.1%、「女性」が53.4%で、「女性」が「男性」を18.3ポイント上回っている。

## (18) がん検診を受けた場所

問 15-1 (がん検診を受けた方のみ)  
どちらでがん検診を受けましたか。

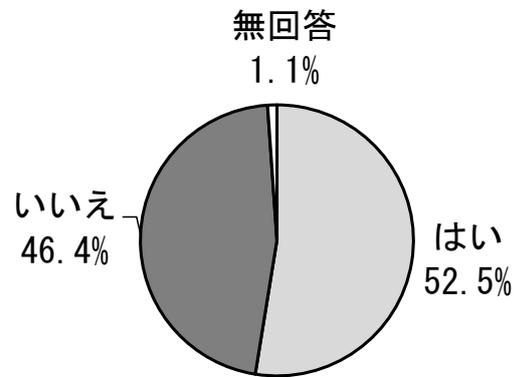


○「職場または健康保険組合が行うがん検診」が43.8%で最も多く、次いで「人間ドック」が25.2%で多くなっている。

## (19) 1年以内の歯科健康診査受診について

問 16 あなたは、1年以内に歯科健康診査を受けましたか。

回答数 : 729



○「はい」が52.5%で多く、「いいえ」は46.4%となっている。

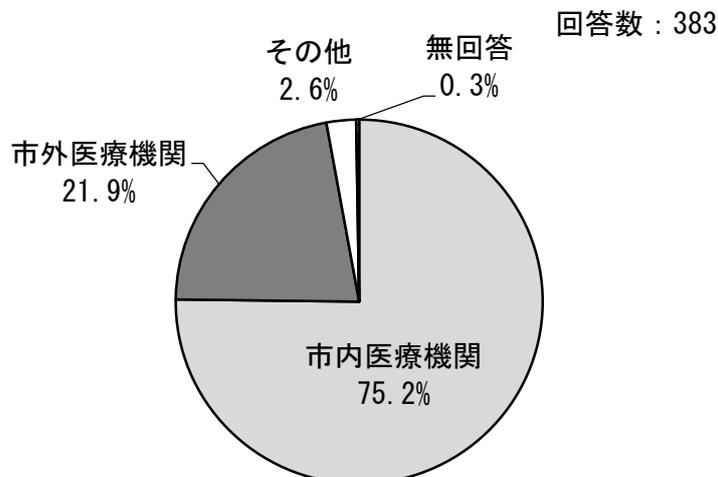
上段: 回答数 下段: 割合 (%)	合計	はい	いいえ	無回答
全体	729	383	338	8
	100.0	52.5	46.4	1.1
男性	305	145	157	3
	100.0	47.5	51.5	1.0
女性	416	234	179	3
	100.0	56.3	43.0	0.7
その他	2	2	0	0
	100.0	100.0	0.0	0.0
無回答	6	2	2	2
	100.0	33.3	33.3	33.3

○性別では、「はい」は「男性」が52.5%、「女性」が46.4%で、「男性」が「女性」を6.1ポイント上回っている。

## (20) 歯科健康診査を受けた場所・機関

問 16-1 歯科健康診査を受けた方のみ)

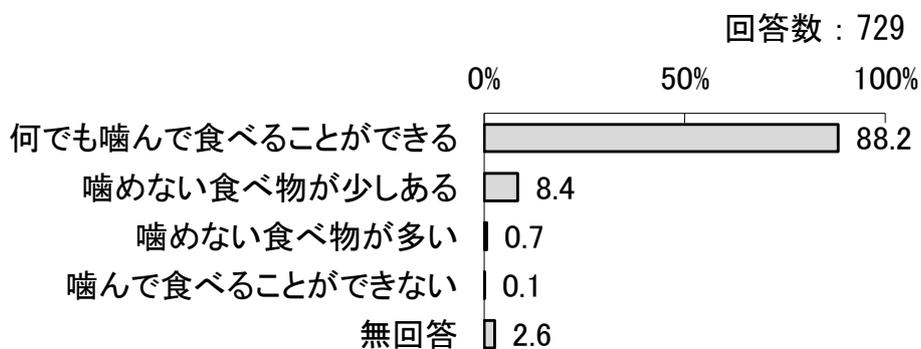
どちらで歯科健康診査を受けましたか。



○「市内医療機関」が75.2%で最も多く、次いで「市外医療機関」が21.9%で多くなっている。

## (21) ものを噛んで食べる時の状態

問 17 あなたは、ものを噛んで食べる時、どのような状態ですか。(＊入れ歯を使っても結構です。)



○「何でも噛んで食べることができる」が88.2%で最も多く、次いで「噛めない食べ物が少しある」が8.4%で多くなっている。

【経年比較】

(単位：%)

	何でも噛んで食べることができる	噛めない食べ物が少しある	噛めない食べ物が多い	噛んで食べることができない	無回答
令和4年度調査 (総数 729)	88.2	8.4	0.7	0.1	2.6
令和元年度調査 (総数 592)	89.9	7.1	0.7	0.2	2.2

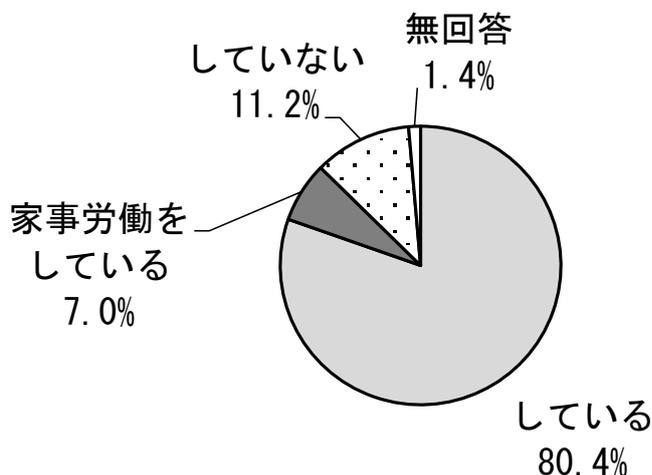
○前回調査と比較し、大きな変化は見られない。

### 3 就労や社会参画などについて

#### (1) 現在の就労状況

問 18 あなたは、現在、仕事をしていますか。

回答数 : 729

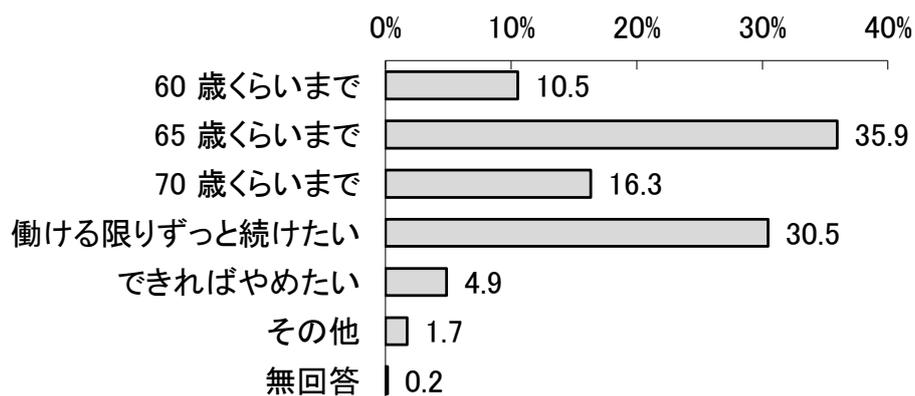


○「している」が80.4%で最も多く、「していない」が11.2%、「家事労働をしている」が7.0%となっている。

#### (2) 働き続けたい年齢

問 18-1 (就労をしている、または家事労働をしている方のみ)  
あなたは何歳ぐらいまで働き続けたいと思いますか。

回答数 : 637

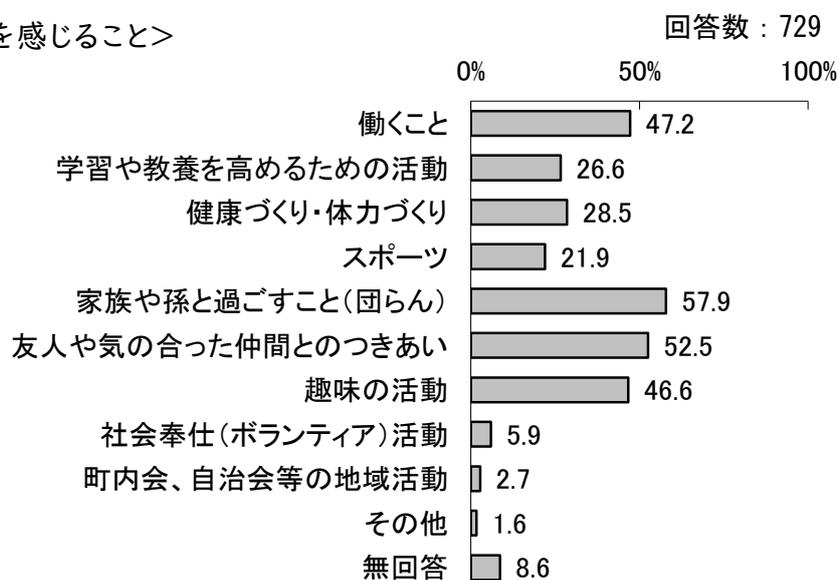


○「65 歳くらいまで」が 35.9%で最も多く、次いで「働ける限りずっと続けたい」が 30.5%で多くなっている。

### (3) 生きがいを感じることや今後やってみたいこと

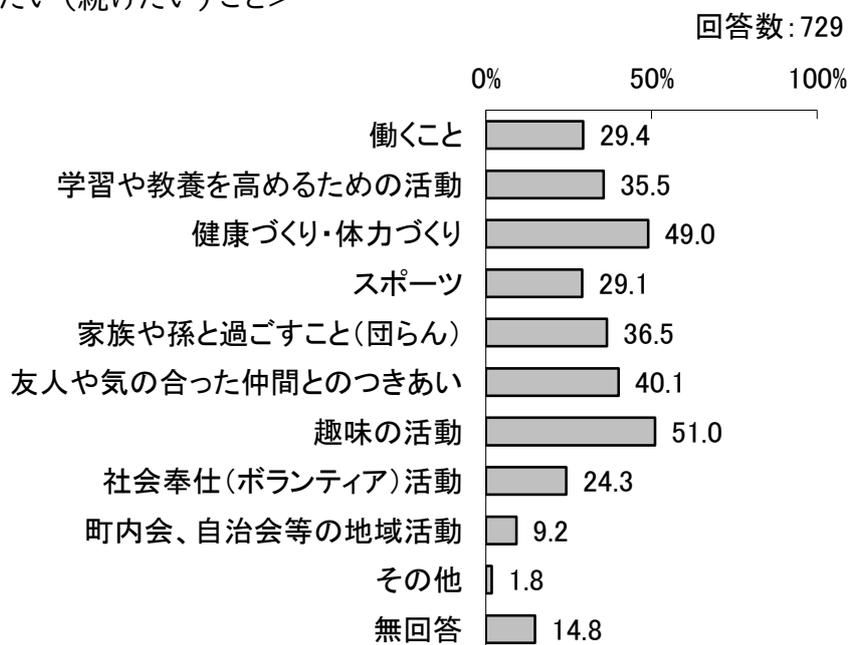
問 19 あなたが現在まで行っていることで、生きがいを感じるのはどんなことですか。また、今後やってみたい(続けたい)ことはどんなことですか。(〇はそれぞれいくつでも)

<現在生きがいを感じることで>



○「家族や孫と過ごすこと(団らん)」が 57.9%で最も多く、次いで「友人や気の合った仲間とのつきあい」が 52.5%で多く、「働くこと」47.2%等が続いている。

<今後やってみたい(続けたい)こと>



○「趣味の活動」51.0%、「健康づくり・体力づくり」49.0%が多く、「友人や気の合った仲間とのつきあい」が 40.1%で続いている。

【性別 現在生きがいを感じること】

上段: 回答数 下段: 割合 (%)	合計	働くこと	学習や教養を高めるための活動	健康づくり・体力づくり	スポーツ	家族や孫と過ごすこと(団らん)	友人や気の合った仲間とのつきあい	趣味の活動	社会奉仕(ボランティア)活動	町内会、自治会等の地域活動	その他	無回答
全体	729 100.0	344 47.2	194 26.6	208 28.5	160 21.9	422 57.9	383 52.5	340 46.6	43 5.9	20 2.7	12 1.6	63 8.6
男性	305 100.0	148 48.5	81 26.6	99 32.5	94 30.8	155 50.8	131 43.0	159 52.1	17 5.6	9 3.0	4 1.3	31 10.2
女性	416 100.0	194 46.6	110 26.4	108 26.0	65 15.6	264 63.5	251 60.3	180 43.3	26 6.3	11 2.6	8 1.9	29 7.0
その他	2 100.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
無回答	6 100.0	1 16.7	2 33.3	0 0.0	0 0.0	2 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 50.0

○性別では、男性で「スポーツ」の回答割合が女性を大きく上回る一方、女性で「友人や気の合った仲間とのつきあい」が男性を大きく上回っている。

【年齢別 現在生きがいを感じること】

上段: 回答数 下段: 割合 (%)	合計	働くこと	学習や教養を高めるための活動	健康づくり・体力づくり	スポーツ	家族や孫と過ごすこと(団らん)	友人や気の合った仲間とのつきあい	趣味の活動	社会奉仕(ボランティア)活動	町内会、自治会等の地域活動	その他	無回答
全体	729 100.0	344 47.2	194 26.6	208 28.5	160 21.9	422 57.9	383 52.5	340 46.6	43 5.9	20 2.7	12 1.6	63 8.6
40歳～44歳	122 100.0	63 51.6	43 35.2	36 29.5	29 23.8	79 64.8	64 52.5	62 50.8	6 4.9	4 3.3	2 1.6	8 6.6
45歳～49歳	156 100.0	68 43.6	37 23.7	40 25.6	35 22.4	98 62.8	83 53.2	66 42.3	6 3.8	2 1.3	4 2.6	17 10.9
50歳～54歳	162 100.0	72 44.4	36 22.2	42 25.9	36 22.2	96 59.3	88 54.3	82 50.6	11 6.8	3 1.9	2 1.2	13 8.0
55歳～59歳	129 100.0	69 53.5	31 24.0	43 33.3	29 22.5	74 57.4	66 51.2	62 48.1	7 5.4	7 5.4	1 0.8	9 7.0
60歳～64歳	156 100.0	70 44.9	46 29.5	45 28.8	29 18.6	72 46.2	79 50.6	67 42.9	13 8.3	4 2.6	3 1.9	16 10.3
無回答	4 100.0	2 50.0	1 25.0	2 50.0	2 50.0	3 75.0	3 75.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

○年齢別では、40歳～44歳で「家族や孫と過ごすこと(団らん)」が、50歳～54歳で「友人や気の合った仲間とのつきあい」が、55歳～59歳では「働くこと」、「健康づくり・体力づくり」が他の年代に比べて多くなっている。

【性別 今後やってみたい(続けたい)こと】

上段:回答数 下段:割合 (%)	合計	働くこと	学習や教養を高めるための活動	健康づくり・体力づくり	スポーツ	家族や孫と過ごすこと(団らん)	友人や気の合った仲間とのつきあい	趣味の活動	社会奉仕(ボランティア)活動	町内会、自治会等の地域活動	その他	無回答
全体	729 100.0	214 29.4	259 35.5	357 49.0	212 29.1	266 36.5	292 40.1	372 51.0	177 24.3	67 9.2	13 1.8	108 14.8
男性	305 100.0	75 24.6	105 34.4	135 44.3	103 33.8	112 36.7	108 35.4	158 51.8	68 22.3	30 9.8	7 2.3	55 18.0
女性	416 100.0	139 33.4	153 36.8	219 52.6	107 25.7	152 36.5	183 44.0	212 51.0	109 26.2	37 8.9	6 1.4	49 11.8
その他	2 100.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0
無回答	6 100.0	0 0.0	1 16.7	2 33.3	1 16.7	2 33.3	1 16.7	2 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 50.0

○性別による差異はほとんどみられないが、「働くこと」、「健康づくり・体力づくり」、「友人や気の合った仲間とのつきあい」では「女性」が比較的多くなっている。

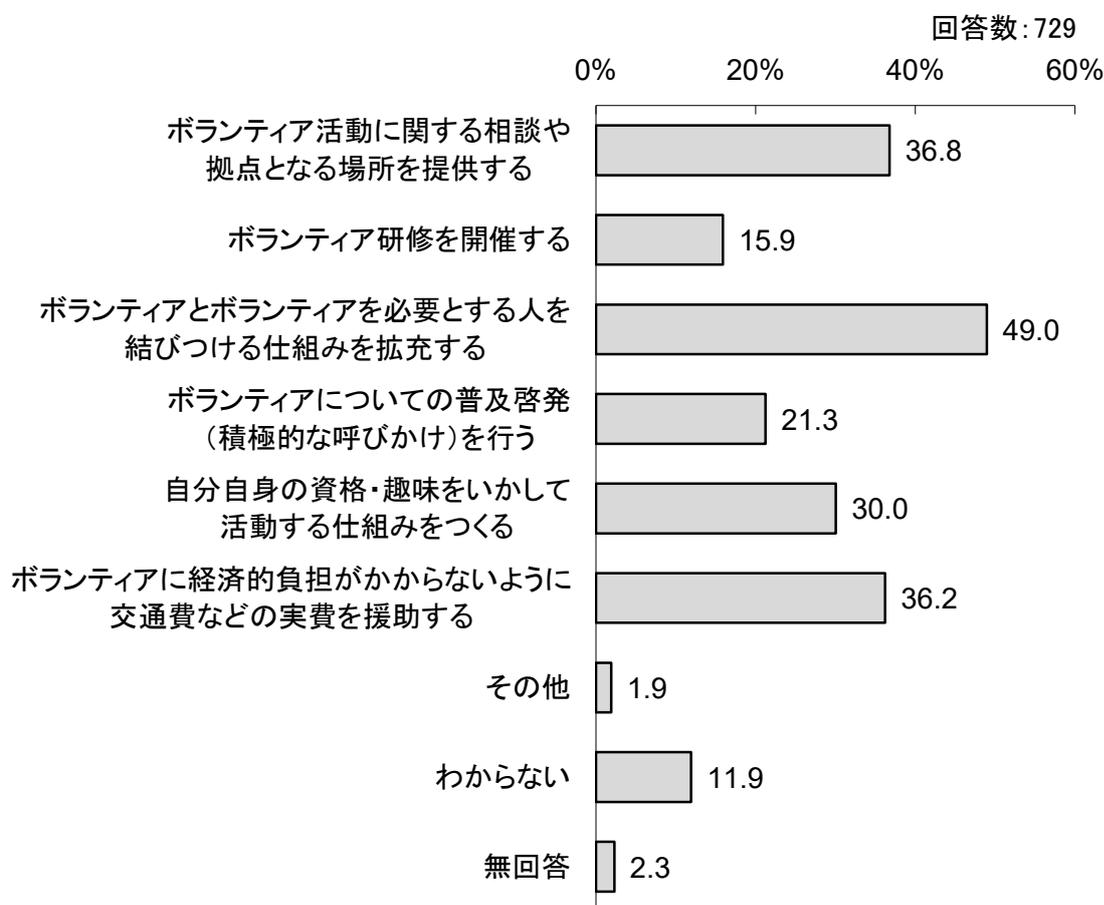
【年齢別 今後やってみたい(続けたい)こと】

上段:回答数 下段:割合 (%)	合計	働くこと	学習や教養を高めるための活動	健康づくり・体力づくり	スポーツ	家族や孫と過ごすこと(団らん)	友人や気の合った仲間とのつきあい	趣味の活動	社会奉仕(ボランティア)活動	町内会、自治会等の地域活動	その他	無回答
全体	729 100.0	214 29.4	259 35.5	357 49.0	212 29.1	266 36.5	292 40.1	372 51.0	177 24.3	67 9.2	13 1.8	108 14.8
40歳~44歳	122 100.0	45 36.9	48 39.3	62 50.8	47 38.5	40 32.8	44 36.1	58 47.5	31 25.4	16 13.1	1 0.8	18 14.8
45歳~49歳	156 100.0	46 29.5	57 36.5	74 47.4	46 29.5	71 45.5	66 42.3	78 50.0	34 21.8	12 7.7	2 1.3	27 17.3
50歳~54歳	162 100.0	43 26.5	49 30.2	73 45.1	52 32.1	57 35.2	66 40.7	80 49.4	37 22.8	14 8.6	3 1.9	32 19.8
55歳~59歳	129 100.0	45 34.9	52 40.3	65 50.4	37 28.7	50 38.8	52 40.3	78 60.5	30 23.3	14 10.9	2 1.6	14 10.9
60歳~64歳	156 100.0	34 21.8	51 32.7	80 51.3	28 17.9	46 29.5	62 39.7	76 48.7	44 28.2	10 6.4	5 3.2	17 10.9
無回答	4 100.0	1 25.0	2 50.0	3 75.0	2 50.0	2 50.0	2 50.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0

○年齢別では、40歳~44歳で「働くこと」が、45歳~49歳で「家族や孫と過ごすこと(団らん)」、「友人や気の合った仲間とのつきあい」が、55歳~59歳で「学習や教養を高めるための活動」「趣味の活動」が、60~64歳で「健康づくり・体力づくり」が他の年代に比べて多くなっている。

#### (4) ボランティア活動を広げていくため必要と思うこと

問20 今後、ボランティア活動の輪を広げていくために、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

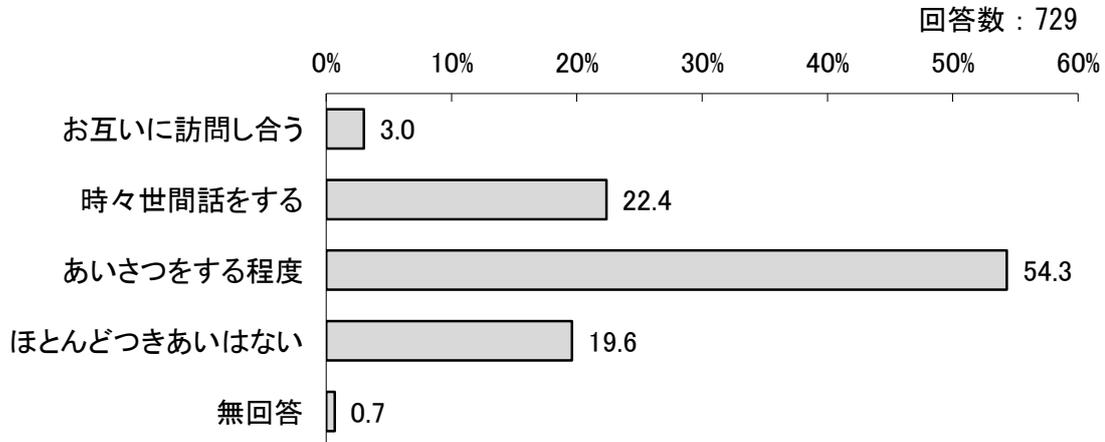


○「ボランティアとボランティアを必要とする人を結びつける仕組みを拡充する」が 49.0%で最も多く、「ボランティア活動に関する相談や拠点となる場所を提供する」36.8%、「ボランティアに経済的負担がかからないように交通費などの実費を援助する」36.2%が続いている。

## 4 地域における交流について

### (1) 隣近所とのつきあい

問 21 あなたは、隣近所との程度のつきあいをしていますか。



○「あいさつをする程度」が54.3%で最も多く、次いで「時々世間話をする」が22.4%、「ほとんどつきあいはない」が19.6%などとなっている。

#### 【性別 隣近所とのつきあい】

上段：回答数 下段：割合 (%)	合計	お互いに訪問し合う	時々世間話をする	あいさつをする程度	ほとんどつきあいはない	無回答
全体	729 100.0	22 3.0	163 22.4	396 54.3	143 19.6	5 0.7
男性	305 100.0	5 1.6	36 11.8	187 61.3	76 24.9	1 0.3
女性	416 100.0	17 4.1	126 30.3	206 49.5	65 15.6	2 0.5
その他	2 100.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0
無回答	6 100.0	0 0.0	0 0.0	3 50.0	1 16.7	2 33.3

○「あいさつをする程度」は「男性」が「女性」より11.8ポイント、「時々世間話をする」は「女性」が「男性」より大きく18.5ポイント、「ほとんどつきあいはない」は「男性」が「女性」より9.3ポイント、それぞれ多くなっている。

#### 【経年比較】

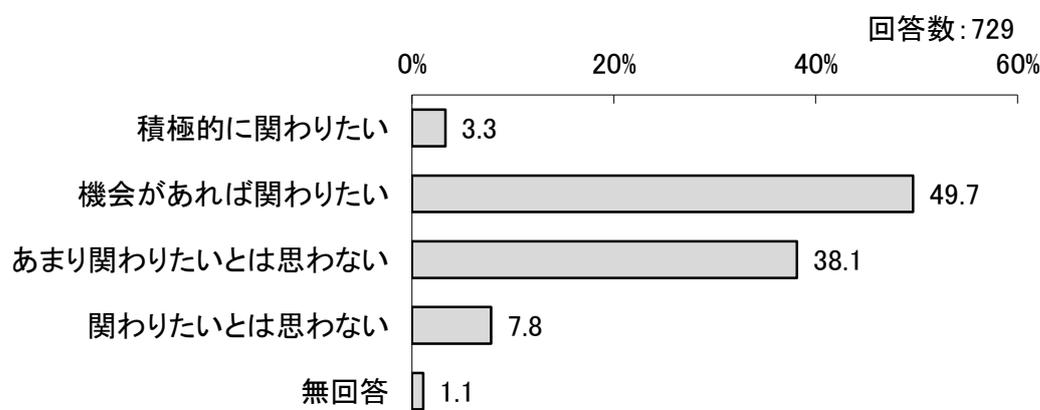
(単位：%)

	合計	お互いに訪問し合う	時々世間話をする	あいさつをする程度	ほとんどつきあいはない	無回答
令和4年度調査 (回答数：729)	100.0	3.0	22.4	54.3	19.6	0.7
令和元年度調査 (回答数：592)	100.0	2.5	23.5	59.8	13.5	0.7

○前回調査と比べて、「あいさつをする程度」が5.5ポイント減少し、「ほとんどつきあいはない」が6.1ポイント増加している。

## (2) 隣近所との交流の希望

問 22 あなたは、隣近所の方々との交流をどの程度望まれていますか。



○「機会があれば関わりたい」が49.7%で最も多く、次いで「あまり関わりたいとは思わない」が38.1%、「関わりたいとは思わない」が7.8%などとなっている。

### 【性別 隣近所との交流の希望】

上段: 回答数 下段: 割合 (%)	合計	積極的に関わりたい	機会があれば関わりたい	あまり関わりたいとは思わない	関わりたいとは思わない	無回答
全体	729 100.0	24 3.3	362 49.7	278 38.1	57 7.8	8 1.1
男性	305 100.0	3 1.0	125 41.0	140 45.9	34 11.1	3 1.0
女性	416 100.0	21 5.0	233 56.0	136 32.7	23 5.5	3 0.7
その他	2 100.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
無回答	6 100.0	0 0.0	2 33.3	2 33.3	0 0.0	2 33.3

○「機会があれば関わりたい」は「女性」が「男性」を15ポイント上回り、「あまり関わりたいとは思わない」は「男性」が「女性」を13.2ポイント上回っている。

### 【経年比較】

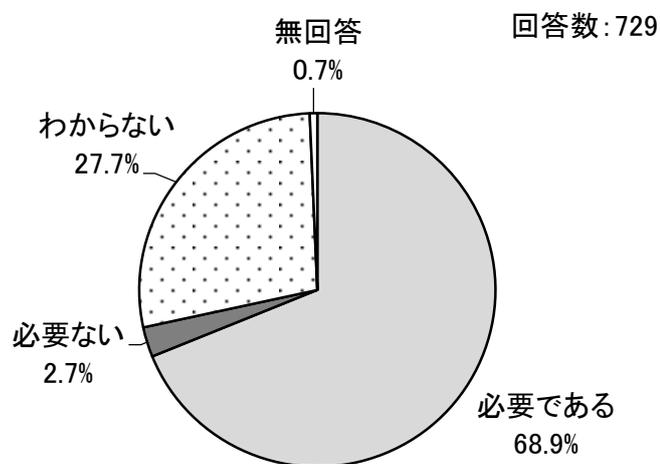
(単位: %)

	合計	積極的に関わりたい	機会があれば関わりたい	あまり関わりたいとは思わない	関わりたいとは思わない	無回答
令和4年度調査 (回答数: 729)	100.0	3.3	49.7	38.1	7.8	1.1
令和元年度調査 (回答数: 592)	100.0	3.7	57.1	32.9	5.2	0.7

○前回調査と比べて、「機会があれば関わりたい」が7.4ポイント減少し、「あまり関わりたいとは思わない」が5.2ポイント増加している。

### (3) 隣近所や地域で高齢者を支えることの必要性

問 23 独居世帯や高齢者世帯が近年増えていますが、隣近所や地域で高齢者を支えることが必要だと思いますか。



○「必要である」が68.9%で最も多く、次いで「わからない」が27.7%、「必要ない」が2.7%などとなっている。

【経年比較】

(単位：%)

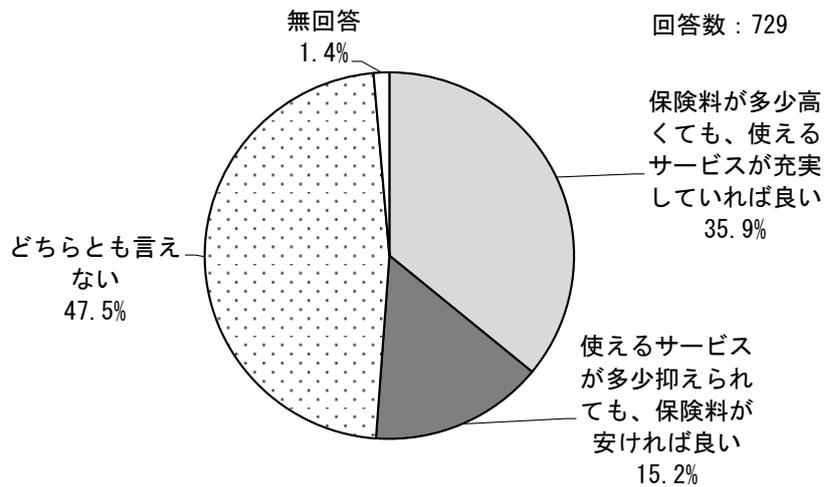
	必要である	必要ない	わからない	無回答
令和4年度調査 (回答数：729)	68.9	2.7	27.7	0.7
令和元年度調査 (回答数：592)	73.8	2.5	23.0	0.7

○前回調査と比べて、「必要である」が4.9ポイント減少し、「わからない」が4.7ポイント増加している。

## 5 介護保険制度・高齢者施策について

### (1) 介護保険料と介護サービスのあり方について

問 24 介護保険制度は、40 歳以上の方から保険料を徴収して介護が必要な方にサービスを提供する費用にあてていますが、保険料と介護サービスのあり方について、あなたのご意見に近いものはどれですか。



○「どちらとも言えない」が 47.5%で最も多く、次いで「保険料が多少高くても、使えるサービスが充実していれば良い」が 35.9%、「使えるサービスが多少抑えられても、保険料が安ければ良い」が 15.2%などとなっている。

#### 【経年比較】

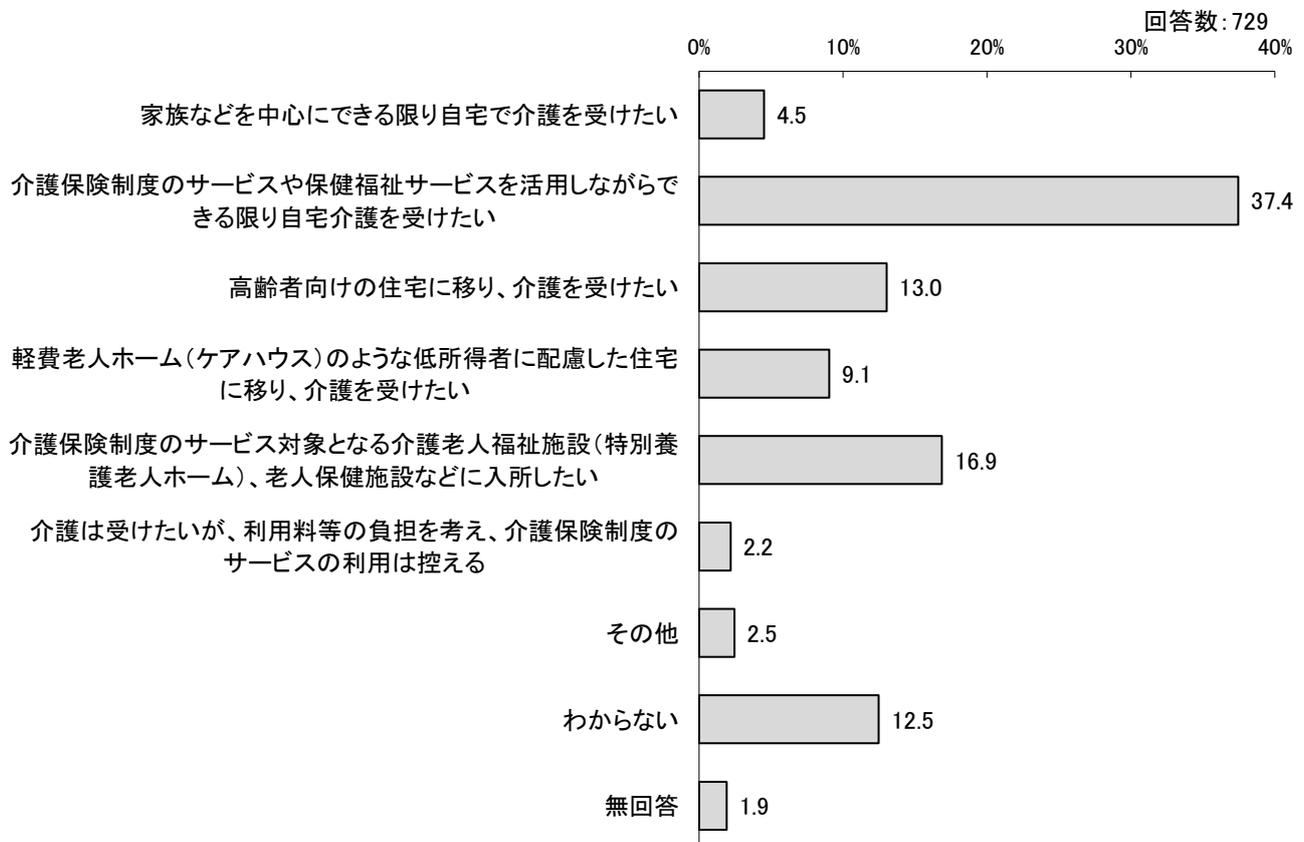
(単位：%)

	保険料が多少高くても、使えるサービスが充実していれば良い	使えるサービスが多少抑えられても、保険料が安ければ良い	どちらとも言えない	無回答
令和4年度調査 (回答数：729)	35.9	15.2	47.5	1.4
令和元年度調査 (回答数：592)	37.8	13.0	47.0	2.2

○前回調査と比べて、大きな差異はみられない。

## (2) 今後、もし自身が介護が必要になったら

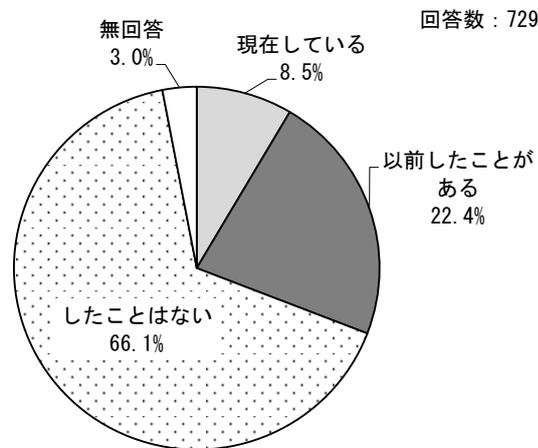
問 25 今後、もしあなたご自身が介護が必要となった場合、どのようにしたいとお考えですか。  
(○は1つ)



○「介護保険制度のサービスや保健福祉サービスを活用しながらできる限り自宅で介護を受けたい」が 37.4%で最も多く、次いで「介護保険制度のサービス対象となる介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)、老人保健施設などに入所したい」が 16.9%、「高齢者向けの住宅に移り、介護を受けたい」が 13.0%などとなっている。

### (3) 家族などの介護の経験の有無

問 26 あなたは、ご家族などの介護をしたことがありますか。



○「したことはない」が66.1%で最も多く、次いで「以前したことがある」が22.4%、「現在している」が8.5%などとなっている。

【性別 家族などの介護の経験】

上段: 回答数 下段: 割合 (%)	合計	現在している	以前したことがある	したことはない	無回答
全体	729 100.0	62 8.5	163 22.4	482 66.1	22 3.0
男性	305 100.0	22 7.2	49 16.1	225 73.8	9 3.0
女性	416 100.0	40 9.6	112 26.9	253 60.8	11 2.6
その他	2 100.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0
無回答	6 100.0	0 0.0	2 33.3	2 33.3	2 33.3

○性別では、「現在している」は「女性」が「男性」をやや上回り、「したことはない」は「男性」が「女性」より13ポイント、「以前したことがある」は「女性」が「男性」より10.8ポイント、それぞれ上回っている。

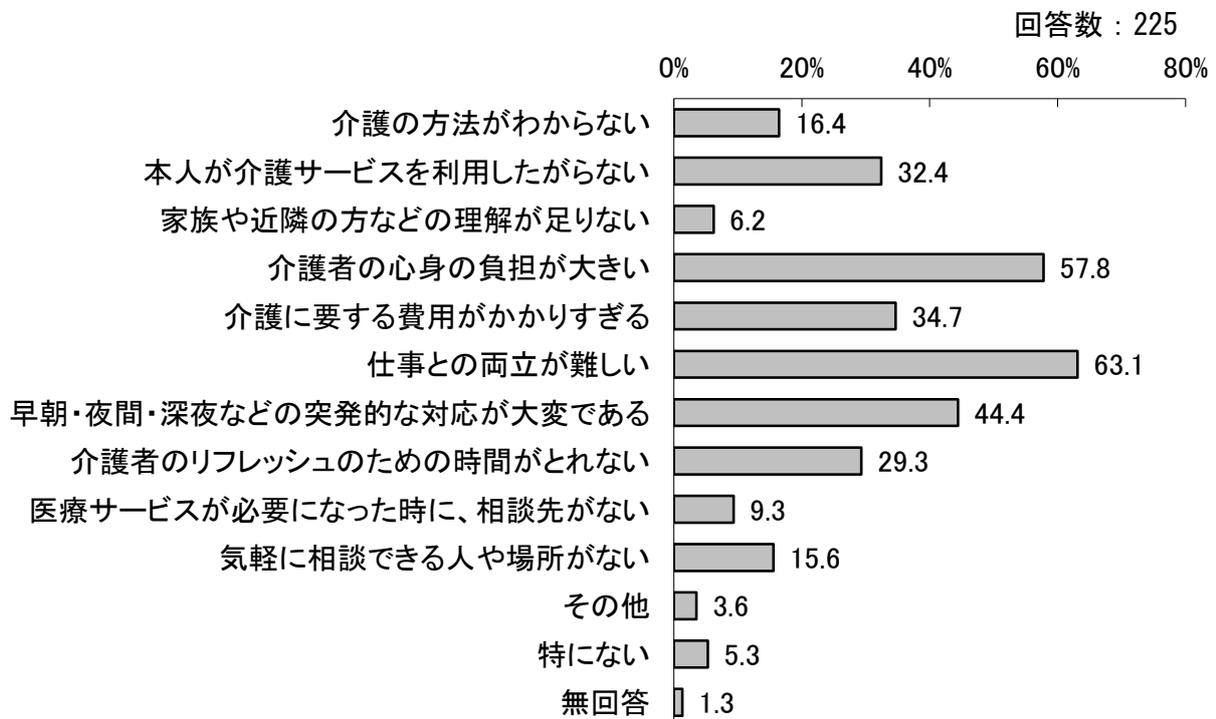
【年齢別 家族などの介護の経験】

上段: 回答数 下段: 割合 (%)	合計	現在している	以前したことがある	したことはない	無回答
全体	729 100.0	62 8.5	163 22.4	482 66.1	22 3.0
40歳～44歳	122 100.0	3 2.5	16 13.1	99 81.1	4 3.3
45歳～49歳	156 100.0	8 5.1	22 14.1	121 77.6	5 3.2
50歳～54歳	162 100.0	19 11.7	26 16.0	111 68.5	6 3.7
55歳～59歳	129 100.0	15 11.6	39 30.2	73 56.6	2 1.6
60歳～64歳	156 100.0	17 10.9	59 37.8	75 48.1	5 3.2
無回答	4 100.0	0 0.0	1 25.0	3 75.0	0 0.0

○年齢別では、「以前したことがある」は年齢の上昇とともに多くなる傾向がみられ、「したことはない」は年齢の上昇とともに減少している。

#### (4) 介護を行う上で困っていること

問 26-1 (介護について「現在している」、「以前したことがある」方のみ)  
介護を行う上で困っていること(困ったこと)について教えてください。(○はいくつでも)



○「仕事との両立が難しい」が 63.1%で最も多く、次いで「介護者の心身の負担が大きい」が 57.8%、「早朝・夜間・深夜などの突発的な対応が大変である」が 44.4%などとなっている。

【性別 介護を行う上で困っていること】

上段: 回答数 下段: 割合(%)	合計	介護の方法がわからない	本人が介護サービスを利用したがらない	家族や近隣の方などの理解が足りない	介護者の心身の負担が大きい	介護に要する費用がかかりすぎる	仕事との両立が難しい	早期・夜間・深夜などの突発的な対応が大変である	介護者のリフレッシュのための時間がとれない	医療サービスが必要になった時に、相談先がない	気軽に相談できる人や場所がない	その他	特にない	無回答
全体	225	37	73	14	130	78	142	100	66	21	35	8	12	3
	100.0	16.4	32.4	6.2	57.8	34.7	63.1	44.4	29.3	9.3	15.6	3.6	5.3	1.3
男性	71	17	19	2	39	21	45	32	18	4	11	1	3	2
	100.0	23.9	26.8	2.8	54.9	29.6	63.4	45.1	25.4	5.6	15.5	1.4	4.2	2.8
女性	152	20	53	12	90	57	96	67	47	16	24	7	9	1
	100.0	13.2	34.9	7.9	59.2	37.5	63.2	44.1	30.9	10.5	15.8	4.6	5.9	0.7
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	2	0	1	0	1	0	1	1	1	1	0	0	0	0
	100.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0

○性別では、「介護の方法がわからない」では「男性」が「女性」を10.7ポイント、「本人が介護サービスを利用したからない」では「女性」が「男性」を8.1ポイント上回っている。

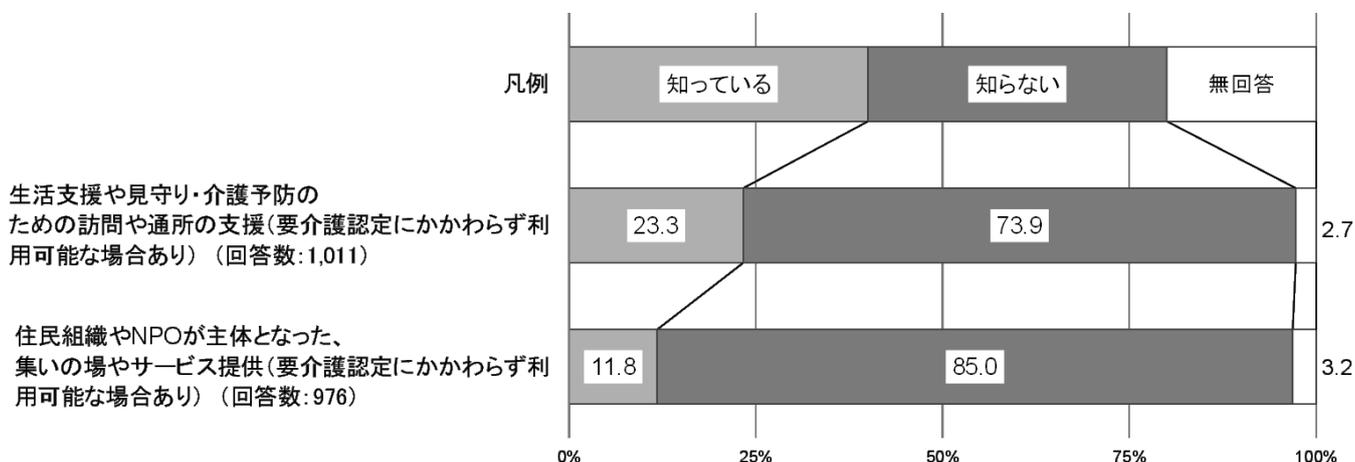
【年齢別 介護を行う上で困っていること】

上段: 回答数 下段: 割合(%)	合計	介護の方法がわからない	本人が介護サービスを利用したがらない	家族や近隣の方などの理解が足りない	介護者の心身の負担が大きい	介護に要する費用がかかりすぎる	仕事との両立が難しい	早期・夜間・深夜などの突発的な対応が大変である	介護者のリフレッシュのための時間がとれない	医療サービスが必要になった時に、相談先がない	気軽に相談できる人や場所がない	その他	特にない	無回答
全体	225	37	73	14	130	78	142	100	66	21	35	8	12	3
	100.0	16.4	32.4	6.2	57.8	34.7	63.1	44.4	29.3	9.3	15.6	3.6	5.3	1.3
40歳 ～44歳	19	5	4	2	13	8	14	6	7	2	9	0	1	0
	100.0	26.3	21.1	10.5	68.4	42.1	73.7	31.6	36.8	10.5	47.4	0.0	5.3	0.0
45歳 ～49歳	30	5	8	3	19	12	24	15	11	2	4	1	2	1
	100.0	16.7	26.7	10.0	63.3	40.0	80.0	50.0	36.7	6.7	13.3	3.3	6.7	3.3
50歳 ～54歳	45	9	17	4	24	13	30	22	12	5	9	3	0	0
	100.0	20.0	37.8	8.9	53.3	28.9	66.7	48.9	26.7	11.1	20.0	6.7	0.0	0.0
55歳 ～59歳	54	7	12	2	34	19	35	24	13	5	4	2	4	1
	100.0	13.0	22.2	3.7	63.0	35.2	64.8	44.4	24.1	9.3	7.4	3.7	7.4	1.9
60歳 ～64歳	76	11	32	3	40	26	39	33	22	6	9	2	5	1
	100.0	14.5	42.1	3.9	52.6	34.2	51.3	43.4	28.9	7.9	11.8	2.6	6.6	1.3
その他	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

○年齢別では、「仕事との両立が難しい」「介護に要する費用がかかりすぎる」は若い年代において比較的多く、「本人が介護サービスを利用したからない」は「60歳～64歳」で特に多くなっている。

## (5) 介護予防・日常生活支援総合事業の認知状況

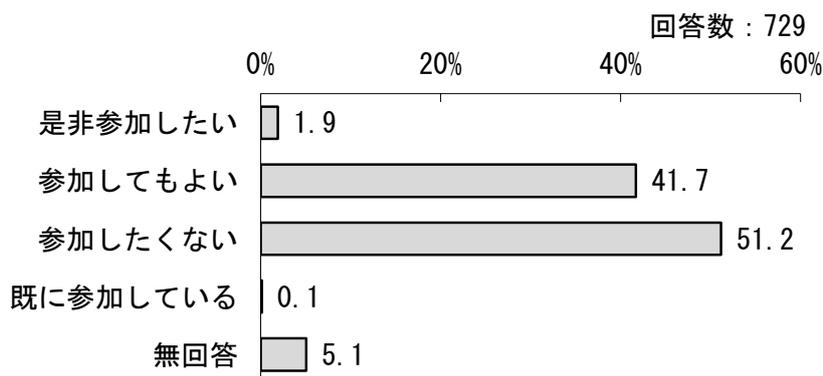
問 27 介護予防・日常生活支援総合事業についてうかがいます。介護予防・日常生活支援総合事業は、65歳以上のすべての方の日常生活の支援を目的とした事業です。本市では、下記の取組を行っておりますが、ご存じですか。(それぞれ〇は1つ)



○いずれも「知らない」が「知っている」を大きく上回っている。「知っている」は「生活支援や見守り・介護予防のための訪問や通所の支援(要介護認定にかかわらず利用可能な場合あり)」が23.3%、「住民組織やNPOが主体となった、集いの場やサービス提供(要介護認定にかかわらず利用可能な場合あり)」が11.8%となっている。

## (6) 地域のボランティア活動に支援者として参加する意思

問 28 支援を必要とする高齢者を支える地域のボランティア活動があれば、あなたはその活動に支援者として参加してみたいと思いますか。

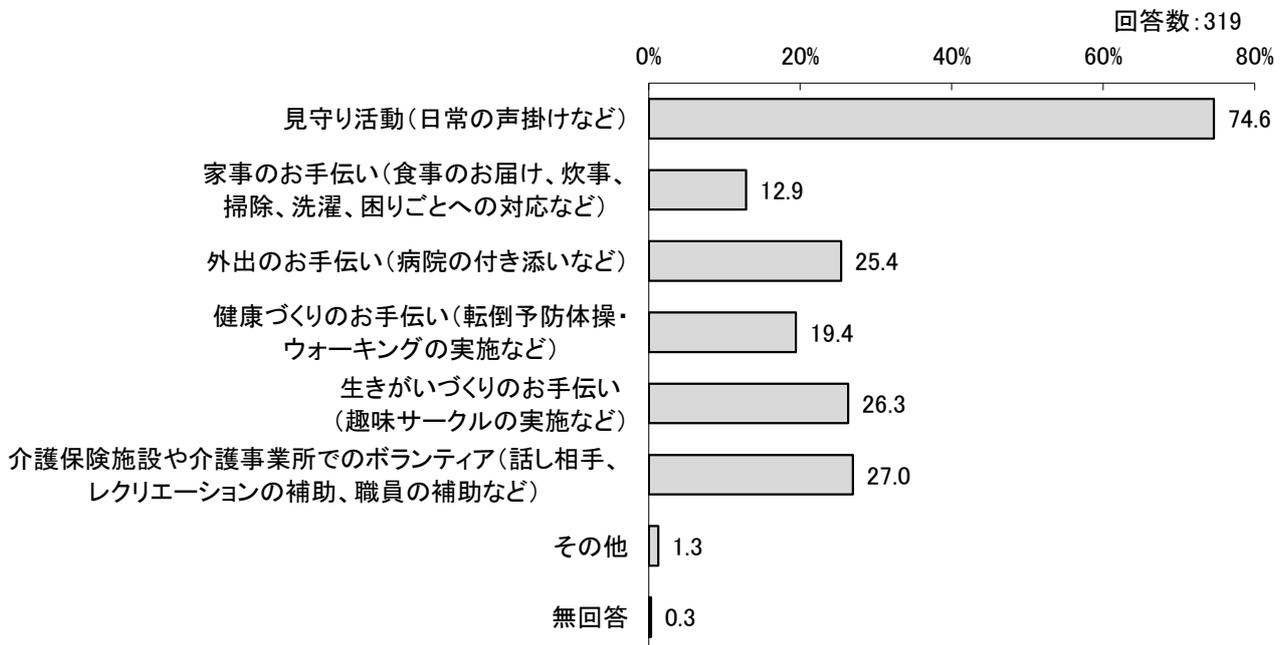


○「参加したくない」が51.2%で最も多く、次いで「参加してもよい」が41.7%などとなっている。

## (7) 支援者として参加したい地域のボランティア

問 28-1 (地域のボランティアに「是非参加したい」、「参加してもよい」方のみ)

支援を必要とする高齢者を支える地域のボランティア活動では、支援者としてどの活動に参加したいですか。また、どの活動に参加していますか。(〇はいくつでも)

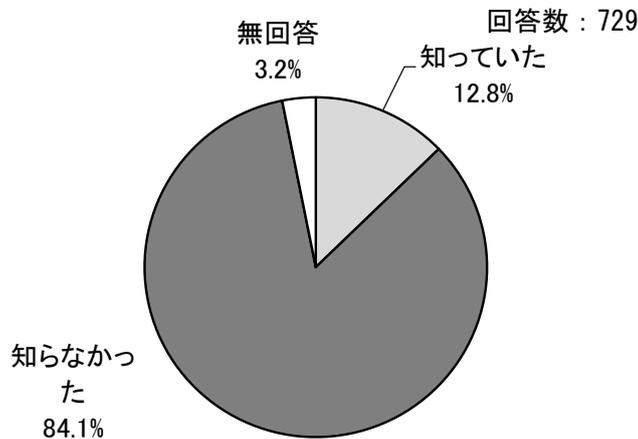


○「見守り活動(日常の声掛けなど)」が74.6%で最も多く、次いで「介護保険施設や介護事業所でのボランティア(話し相手、レクリエーションの補助、職員の補助など)」が27.0%、「生きがいづくりのお手伝い(趣味サークルの実施など)」が26.3%などとなっている。

## (8) 高齢者外出支援事業の認知度

問 29 高齢者外出支援事業についてうかがいます。

市では、高齢者が自宅に引きこもらず気軽に外出し、健康で自分らしい生活を送っていただくこと、また、経済的負担の軽減を目的として在宅で生活する 75 歳以上の非課税世帯に対して、高齢者外出支援事業として、1 枚 500 円のタクシー券を月 3 枚（年間最大 36 枚）、交付していますがご存じでしたか。

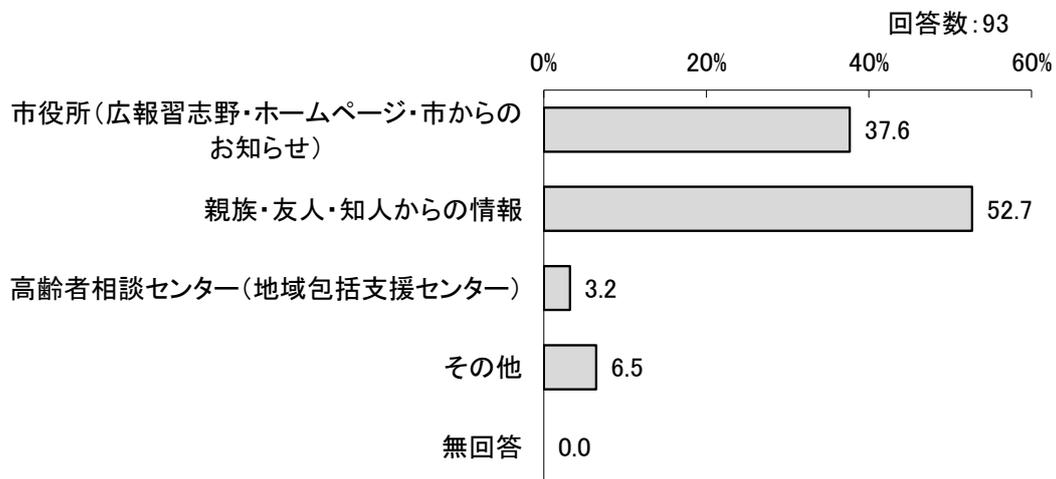


○「知らなかった」が 84.1%、「知っていた」が 12.8%などとなっている。

## (9) 高齢者外出支援事業についての情報の入手先

問 29-1 (高齢者外出支援事業について「知っていた」方のみ)

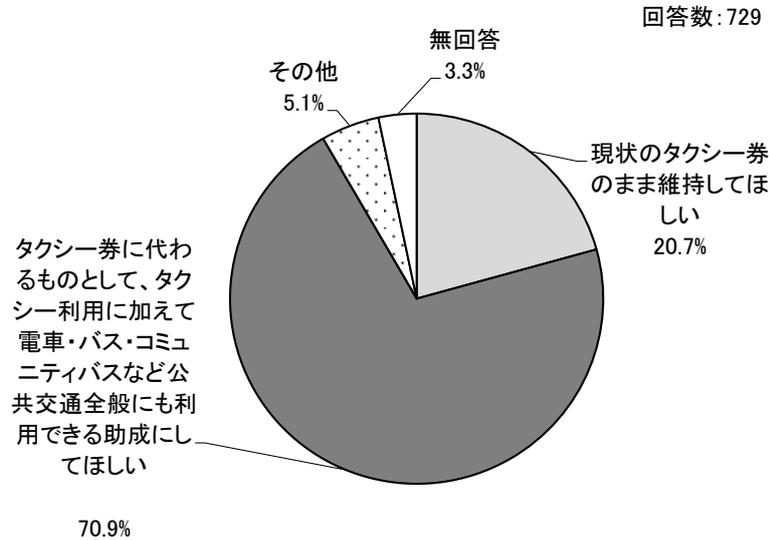
本事業を何で知りましたか。



○「親族・友人・知人からの情報」が 52.7%で最も多く、次いで「市役所(広報習志野・ホームページ・市からのお知らせ)」が 37.6%、「その他」が 6.5%などとなっている。

## (10) 今後の高齢者外出支援事業の見直しについて

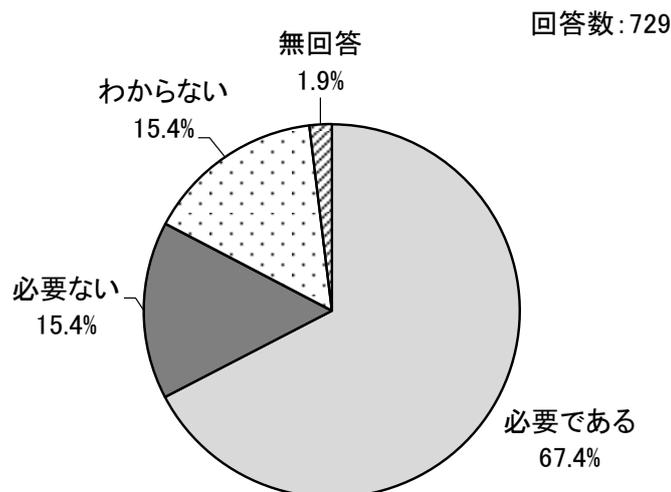
問 30 より良い高齢者の外出支援策とするには、今後どのような事業の見直しを行うのが良いと思いますか。



○「タクシー券に代わるものとして、タクシー利用に加えて電車・バス・コミュニティバスなど公共交通全般にも利用できる助成にしてほしい」が70.9%で最も多く、次いで「現状のタクシー券のまま維持してほしい」が20.7%などとなっている。

## (11) 高齢者ドライバーの運転免許証自主返納について

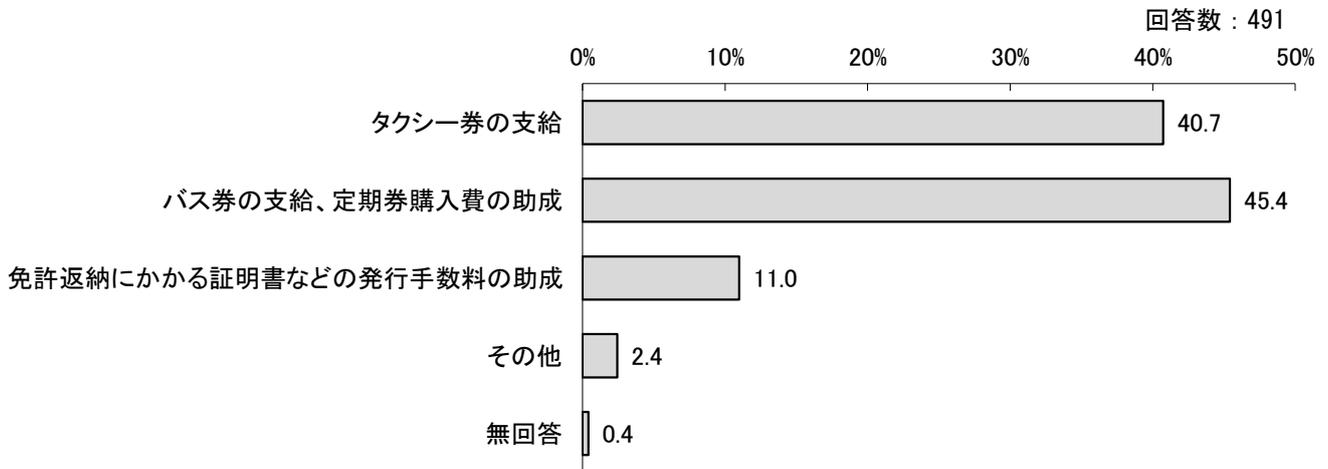
問 31 近年、高齢者ドライバーが当事者となる痛ましい事故が多発し、運転免許証の自主返納に大きな関心が集まっています。本市の公共交通は比較的充実していることから、現時点でタクシー券等の支給は行っていませんが、今後、運転免許証を自主返納した方に対する税金を使った支援は必要であると思いますか。



○「必要である」が67.4%、「必要ない」が15.4%、「わからない」が15.4%などとなっている。

## (12) 運転免許証を自主返納した方に必要な支援

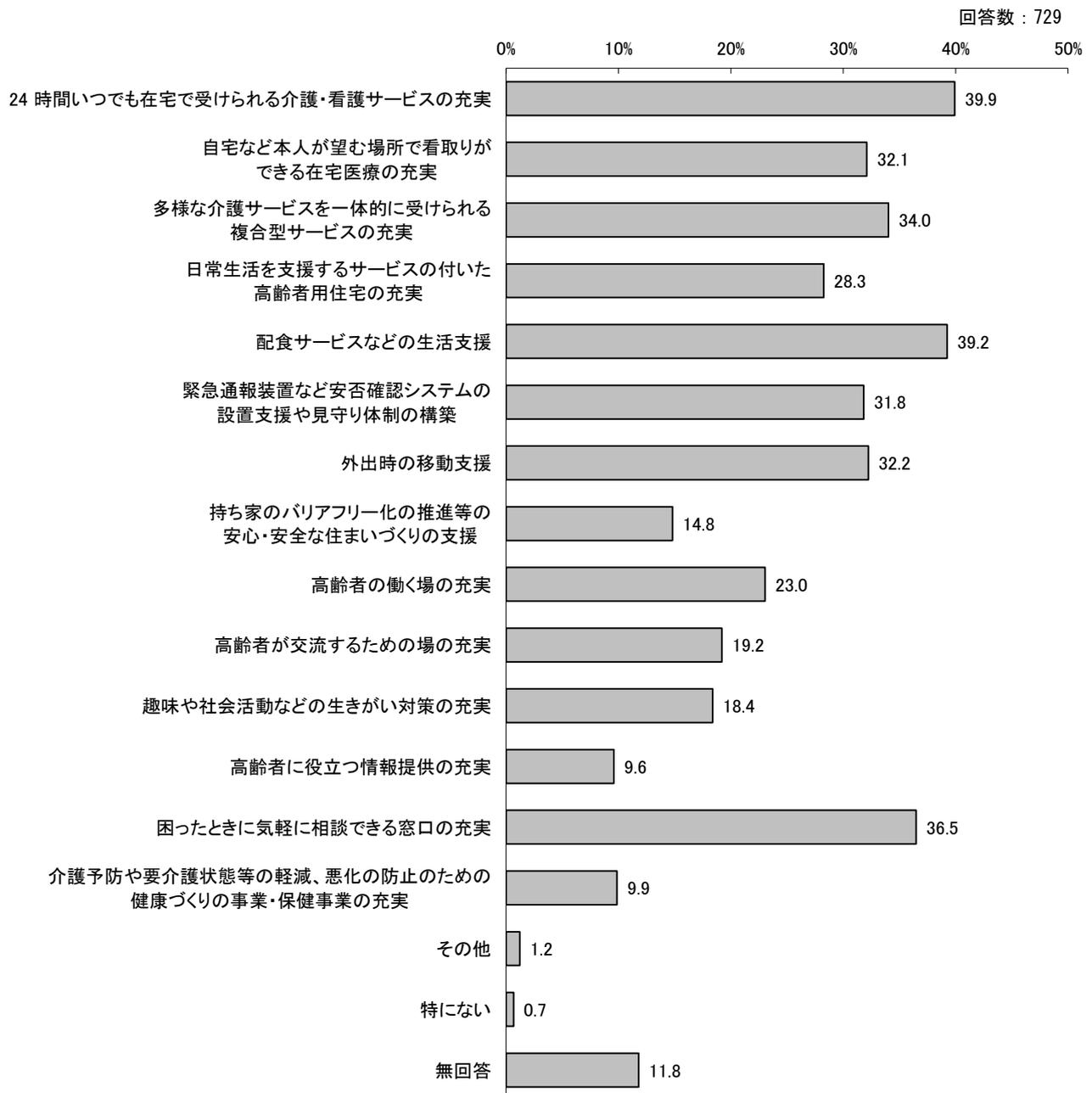
問 31-1 (運転免許証を自主返納した方に対する支援が「必要である」と思う方のみ)  
どのような支援が必要であると思いますか。



○「バス券の支給、定期券購入費の助成」が 45.4%で最も多く、次いで「タクシー券の支給」が 40.7%、「免許返納にかかる証明書などの発行手数料の助成」が 11.0%などとなっている。

### (13) 高齢者が地域で在宅生活を続けるために必要な施策

問 32 あなたは、高齢者が住み慣れた地域で在宅生活を続けていくために、主としてどのような市の施策が必要であると考えますか。(〇は5つまで)

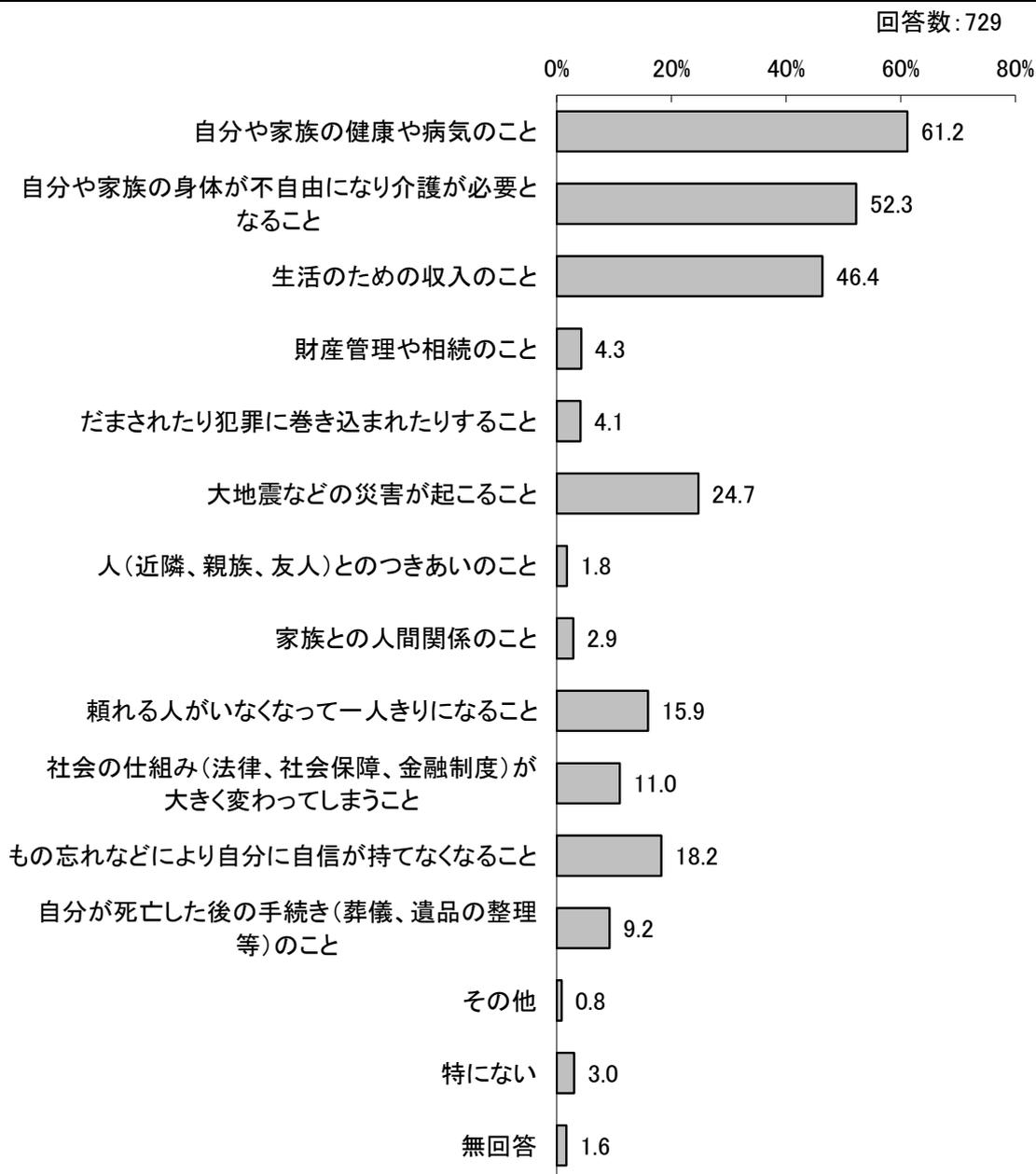


○「24時間いつでも在宅で受けられる介護・看護サービスの充実」が39.9%で最も多く、次いで「配食サービスなどの生活支援」が39.2%、「困ったときに気軽に相談できる窓口の充実」が36.5%、などとなっている。

## 6 将来の不安、備えについて

### (1) 将来の不安

問 33 あなたは、ご自分の将来についてどんな不安がありますか。(〇は3つまで)



○「自分や家族の健康や病気のこと」が61.2%で最も多く、次いで「自分や家族の身体が不自由になり介護が必要となること」が52.3%、「生活のための収入のこと」が46.4%、「大地震などの災害が起こること」が24.7%などとなっている。

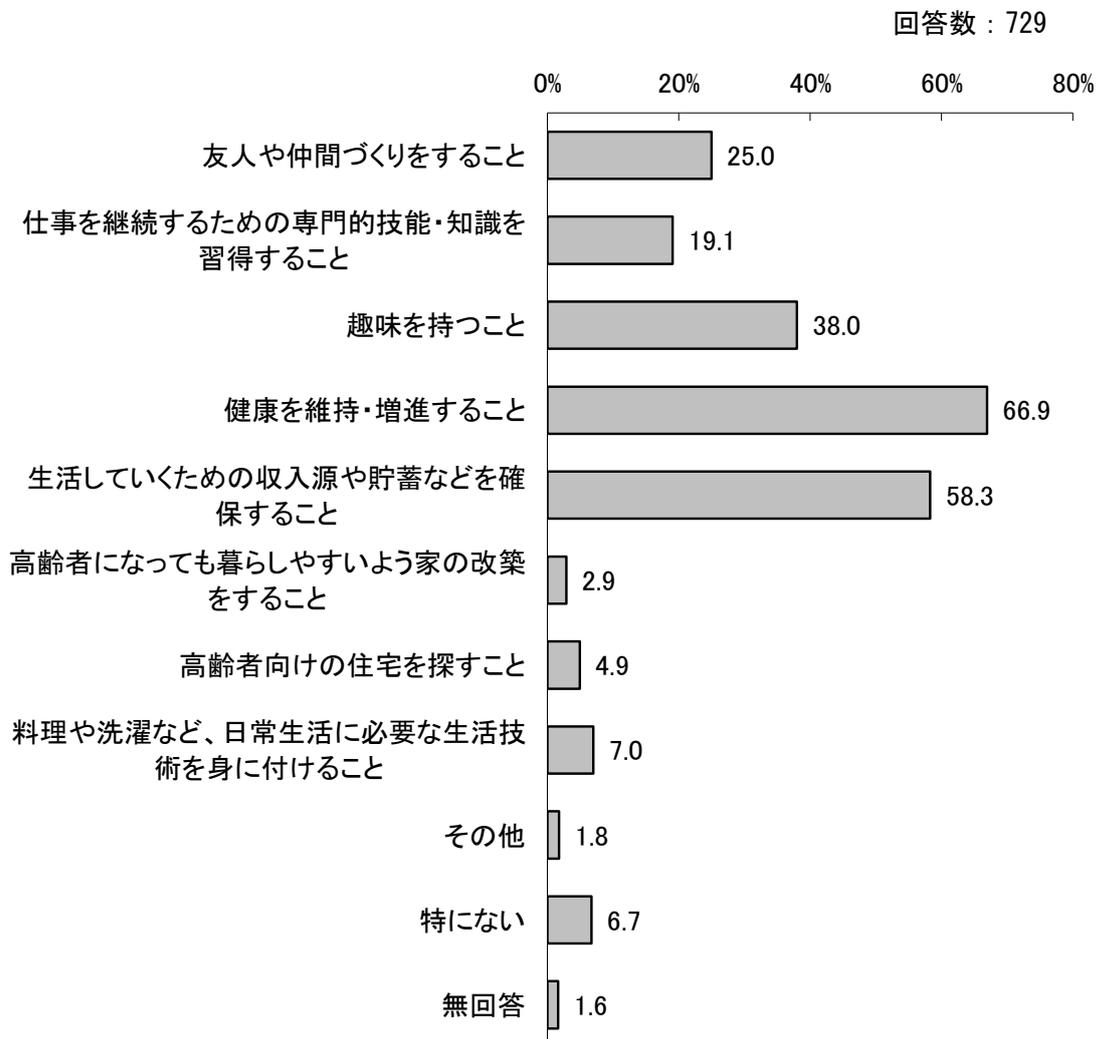
【年齢別 将来の不安】

上段： 回答数 下段： 割合 (%)	合計	自分や家族の健康や病気のこと	自分や家族の身体が不自由になり介護が必要となること	生活のための収入のこと	財産管理や相続のこと	だまされたり犯罪に巻き込まれたりすること	大地震などの災害が起こること	人(近隣、親族、友人)とのつきあいのこと	家族との人間関係のこと	頼れる人がいなくなって一人きりになること	社会の仕組み(法律、社会保障、金融制度)が大きく変わってしまうこと	もの忘れなどにより自分に自信が持てなくなる こと	自分が死亡した後の手続き(葬儀、遺品の整理等)のこと	その他	特になし	無回答
	全体	729 100.0	446 61.2	381 52.3	338 46.4	31 4.3	30 4.1	180 24.7	13 1.8	21 2.9	116 15.9	80 11.0	133 18.2	67 9.2	6 0.8	22 3.0
40歳 ～44歳	122 100.0	82 67.2	51 41.8	53 43.4	3 2.5	11 9.0	35 28.7	3 2.5	4 3.3	17 13.9	12 9.8	13 10.7	16 13.1	0 0.0	7 5.7	2 1.6
45歳 ～49歳	156 100.0	94 60.3	78 50.0	84 53.8	7 4.5	8 5.1	36 23.1	2 1.3	4 2.6	28 17.9	9 5.8	22 14.1	16 10.3	4 2.6	4 2.6	3 1.9
50歳 ～54歳	162 100.0	104 64.2	93 57.4	78 48.1	5 3.1	7 4.3	43 26.5	3 1.9	3 1.9	30 18.5	19 11.7	31 19.1	10 6.2	0 0.0	3 1.9	1 0.6
55歳 ～59歳	129 100.0	75 58.1	71 55.0	60 46.5	5 3.9	2 1.6	29 22.5	3 2.3	4 3.1	21 16.3	23 17.8	26 20.2	14 10.9	2 1.6	1 0.8	1 0.8
60歳 ～64歳	156 100.0	89 57.1	84 53.8	61 39.1	11 7.1	2 1.3	37 23.7	2 1.3	6 3.8	18 11.5	17 10.9	40 25.6	10 6.4	0 0.0	7 4.5	5 3.2
無回答	4 100.0	2 50.0	4 100.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 50.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

○「自分や家族の健康や病気のこと」、「自分や家族の身体が不自由になり介護が必要となること」、「生活のための収入のこと」はすべての年代にわたり多くなっている。「もの忘れなどにより自分に自信が持てなくなること」は高い年齢層において多く、年代の上昇とともに回答割合も多くなっている。

## (2) 将来、老後の生活に備えて現在していることや必要だと思うこと

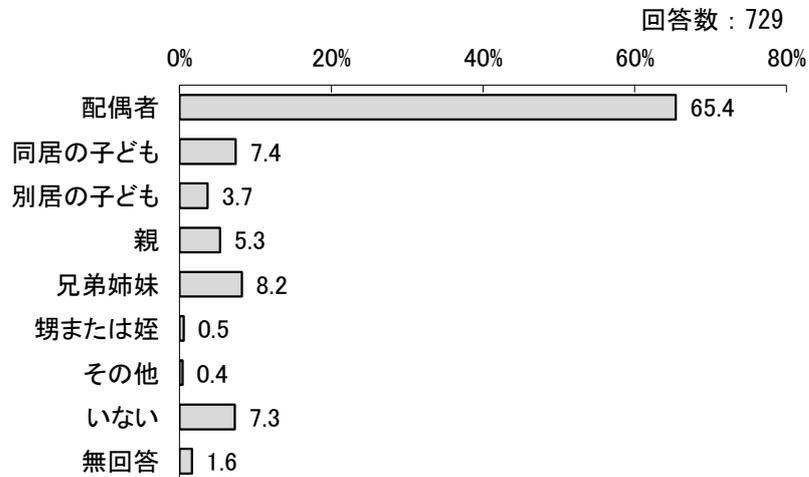
問 34 あなたは、ご自分の将来、特に老後の生活に備えて、現在どのようなことをしていますか、またはどのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)



○「健康を維持・増進すること」が 66.9%で最も多く、次いで「生活していくための収入源や貯蓄などを確保すること」が 58.3%、「趣味を持つこと」が 38.0%などとなっている。

### (3) 緊急時に必要な手続き・金銭管理をしてくれる身内の有無

問 35 あなたの身に緊急事態が起きた時(事故等による介護を要する状態、認知症などに、必要な手続きや金銭管理をしてくれる身内の方はいますか。いる場合は、主にどなたですか。(〇は1つ)



○「配偶者」が65.4%で最も多く、次いで「兄弟姉妹」が8.2%、「同居の子ども」が7.4%、などとなっている。

【性別 緊急時に必要な手続き・金銭管理をしてくれる身内】

上段: 回答数 下段: 割合 (%)	合計	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親	兄弟姉妹	甥または姪	その他	いない	無回答
全体	729 100.0	477 65.4	54 7.4	27 3.7	39 5.3	60 8.2	4 0.5	3 0.4	53 7.3	12 1.6
男性	305 100.0	205 67.2	7 2.3	11 3.6	26 8.5	28 9.2	1 0.3	1 0.3	23 7.5	3 1.0
女性	416 100.0	269 64.7	46 11.1	16 3.8	12 2.9	31 7.5	3 0.7	2 0.5	30 7.2	7 1.7
その他	2 100.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
無回答	6 100.0	3 50.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 33.3

○「配偶者」は「男性」が「女性」をやや上回り、「同居の子ども」は「女性」が「男性」より8.8ポイント、「親」は「男性」が「女性」より5.6ポイント多くなっている。

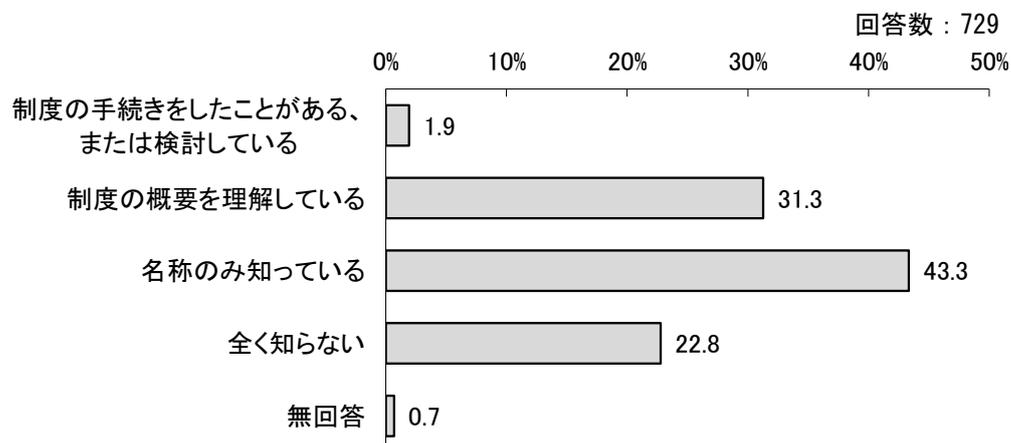
【年齢別 緊急時に必要な手続き・金銭管理をしてくれる身内】

上段:回答数 下段:割合 (%)	合計	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親	兄弟姉妹	甥または姪	その他	いない	無回答
全体	729 100.0	477 65.4	54 7.4	27 3.7	39 5.3	60 8.2	4 0.5	3 0.4	53 7.3	12 1.6
40歳～44歳	122 100.0	74 60.7	6 4.9	0 0.0	18 14.8	13 10.7	0 0.0	1 0.8	8 6.6	2 1.6
45歳～49歳	156 100.0	108 69.2	9 5.8	1 0.6	11 7.1	8 5.1	0 0.0	1 0.6	16 10.3	2 1.3
50歳～54歳	162 100.0	116 71.6	11 6.8	3 1.9	6 3.7	13 8.0	0 0.0	0 0.0	11 6.8	2 1.2
55歳～59歳	129 100.0	86 66.7	9 7.0	8 6.2	2 1.6	14 10.9	1 0.8	1 0.8	7 5.4	1 0.8
60歳～64歳	156 100.0	91 58.3	18 11.5	15 9.6	1 0.6	12 7.7	3 1.9	0 0.0	11 7.1	5 3.2
無回答	4 100.0	2 50.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

○「配偶者」はすべての年代にわたり多くなっている。また、「同居の子ども」、「別居の子ども」は年齢に比例して多くなっている。

(4) 成年後見制度の認知度

問 36 あなたは「成年後見制度」について、どの程度ご存知ですか。(○は1つ)  
 「成年後見制度」とは、認知症や障がいなどにより、判断能力が十分でない方が不利益を被らないように家庭裁判所へ申立てをして、その方の権利を守る援助者を選び、法律的に支援する制度です。



○「名称のみ知っている」が 43.3%で最も多く、次いで「制度の概要を理解している」が 31.3%、「全く知らない」が 22.8%などとなっている。

## (5) 自由意見・要望

◎最後に、市の高齢者保健福祉施策について、ご意見、ご要望がありましたら自由にご記入ください。

【記述内容(主なもの)】(年齢/性別)

- 高齢者が住みやすい、とは恐らく、コミュニティが最寄にあり、気軽に楽しく出かけられる「場」があることだと思います。日々の楽しみとなることで生きがいになったりできれば、と願います。そのサポートをして頂けたら良いと思います。(60歳~64歳/女性)
- 利用できるサービスなどたくさんあるようですがそれを知らない高齢者は多いと思います。他人などから聞いてはじめて知るのではなく、高齢者支援課などから個別にサービス内容を知らせてもらえるようになるとういと思います。一人暮らしの高齢者でどこに相談していいのかわからなくて困っている方たくさんいると思います。(60歳~64歳/男性)
- このアンケートを通して習志野市の支援サービスを新たに知ることができ、有意義でした。実際にサービスを利用する高齢者の世代に声を聞くことも大切ですが、親世代が高齢者の世代にどんなサービスがよりよいかを今回のようにヒアリングすることで現実的なサービスになると思います。(50歳~54歳/女性)
- 親の介護がはじまって、相談センターの人はとても親切に相談にのってくれた。が、正直制度はよくわからない。助けてもらいたくて初めて介護制度の複雑さや条件、ハードルの高さを感じた。老人も1個人で同じ環境はないのだからプロの意見や提案を受ける場が少ない。ケアマネにも差がある。個人個人で希望可能な介護内容や金額がわかるもの、又はおおよその事を教えてくれる窓口がほしい。(60歳~64歳/女性)
- 高齢者の仲間作りや、交流できる場所をたくさん作ってほしいです。介護保険施設を増やしてほしいです。(60歳~64歳/女性)
- 今後、認知症などの高齢者が増えていきます。その際習志野市役所にはお世話になることが多いと思います。そうならないように私も気をつけますが、市役所の皆様も身体に気をつけて、よい町づくりが出来るようにお願いします。(55歳~59歳/女性)
- 今回のアンケートで、実施されている施策についてあまり知らないことが分かりました。勉強不足もあると思いますが、応報活動に力を入れていただけるとお願いいたします。(50歳~54歳/女性)
- 今回アンケートに答えてみて、自分自身が高齢者になるにあたっての心の準備ができていないと思いました。幸いにも、まだ働き盛りの状態なのですが、市の高齢者保健福祉施策についての概要がわかればよいと思いました。(55歳~59歳/男性)
- 高齢者のそれぞれの個人的に使える制度、サービスを市の方から提供していただくと有り難いと思います。なかなか自分で調べたりするのもむずかしくなると思うので、今の状態で利用できるサービスなどをわかりやすく教えてほしいと思います。(55歳~59歳/女性)
- 専門的な知識や技術をもった高齢者が無理なく能力を発揮できるような仕事の機会があれば、と思います。また、軽度の認知症の方々がサポートを受けながら働いたり、気軽に集まって話をしたり遊んだりできるコミュニティが増えると、心の健康の改善につながるのではないかと考えています。「シルバー人材は草取り」のように、高齢者の扱いを一律にするのではなく、個人個人に応じた生きがい対策が充実すると、高齢者以外の人にとっても学んだり生きがいを感じたりすることが増えるように思います。(40歳~44歳/女性)